



群馬県立沼田高等学校

進学講演会

2024/6/28

はじめに

努力した者が成功するとは限らない
しかし、成功した者は必ず努力している

■ 受験学力のピークはいつに合わせる？①

「学力のピークはいつに持っていけば良い？」と塾生に聞くと

「△ △ △ △ △ の日」という答えがもっとも多いです。

これが正しいとすれば今日からあと○○○日 後です。

もう1年もありません。

あと○○○日で学力を最大限上げねばなりません。

■ 受験学力のピークはいつに合わせる？②

「大学入学共通テストです」と答えた塾生には

「理想は□□□□□の日」と伝えています。

入試はメンタルに大きく左右されます。

模試で良い判定を取って受験する受験生と、思うような判定を取れずに受験する受験生はどちらが有利だと思いますか？

河合塾の最後の模試は11月17日の全統プレ共通テストです。

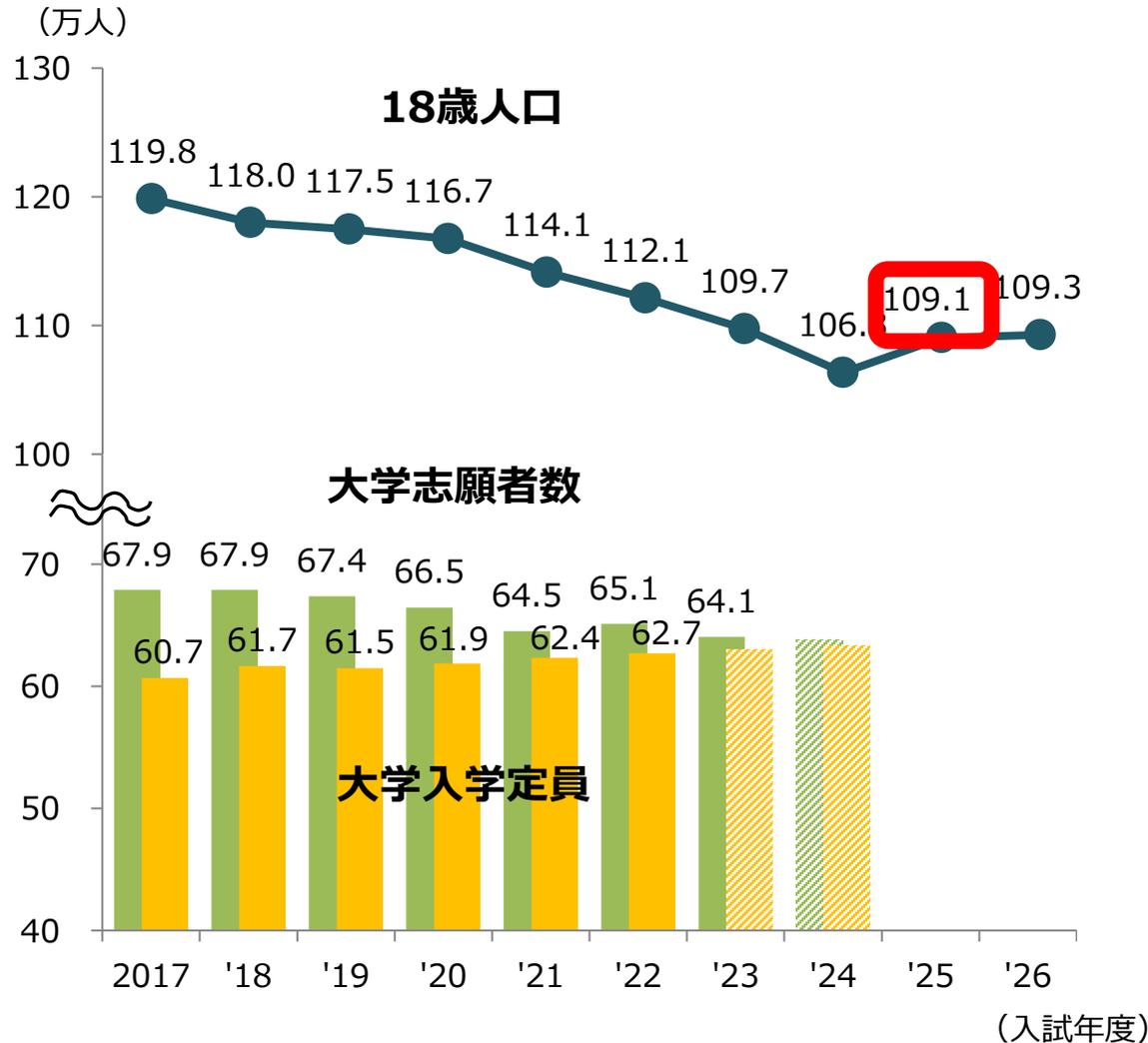
今日を入れて○○○日しかありません。

無駄に焦る必要はありませんが、受験スケジュール上、今どのあたりにいるかは再確認してください。

2024年度入試の実施状況

(参考) 受験人口減により大学志願者は減少期に

● 18歳人口・大学志願者数の推移



※学校基本調査、全国大学一覧より(斜線で表している年度は河合塾の推定)

2024年度の状況

18歳人口

2024年度はここ数年で
最大の減少幅(-3.4万人)
2017~24年で約13万人減

大学志願者数

大学志願者数は減少基調
2024年度も減少が見込まれる

大学入学定員

理工系や情報系などを中心に拡大
大学全体で増加

共通テスト 出題トピック

- ・「日常の事象を意識した場面設定」「複数資料の提示」「学習の過程を意識した出題設定」といった共通テストの特徴的な出題傾向は継続。
- ・問題分量は前年よりさらに増加した科目も見られる。7科目受験した場合の問題冊子ページ総数は、センター試験時と比べ50～60ページ増（3割増）。
- ・解答形式では本試で初めて連動型問題（連続した設問で最初の設問の解答により、次の設問の解答が変わる問題）が出題された。

▼大学入学共通テスト 問題冊子ページ数変化

科目	問題冊子ページ数		
	23年度	24年度	前年差
英語（リーディング）	34	35	+1
英語（リスニング）	20	20	±0
国語	48	46	-2
世界史B	32	32	±0
日本史B	32	32	±0
地理B	34	34	±0
現代社会	38	40	+2
倫理	37	37	±0
政治経済	36	39	+3
倫理,政治経済	39	39	±0

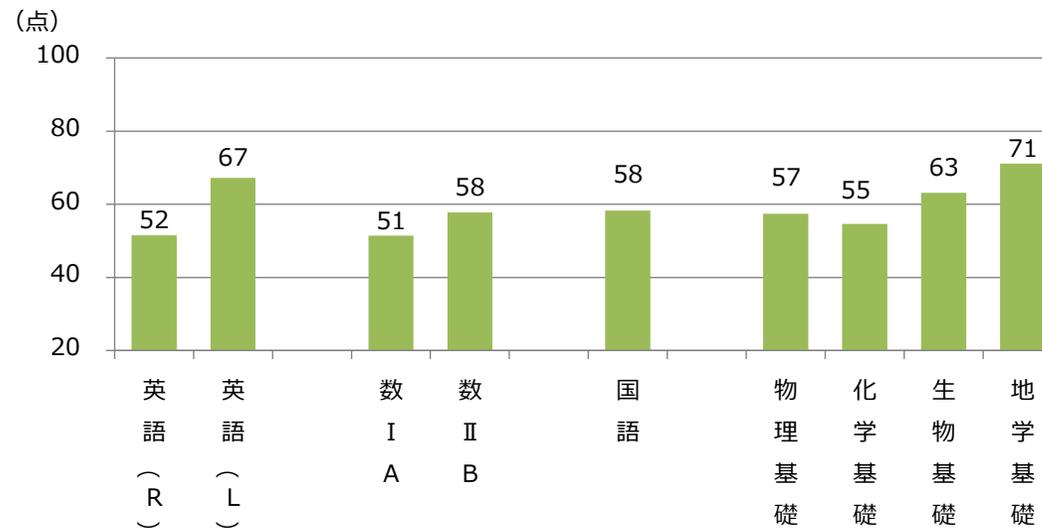
科目	問題冊子ページ数		
	23年度	24年度	前年差
数学Ⅰ・数学A	26	29	+3
数学Ⅱ・数学B	26	26	±0
物理基礎	15	17	+2
化学基礎	12	12	±0
生物基礎	14	18	+4
地学基礎	17	14	-3
物理	28	23	-5
化学	26	33	+7
生物	29	28	-1
地学	30	30	±0

※大学入学共通テストの主な科目について本試験問題冊子で比較

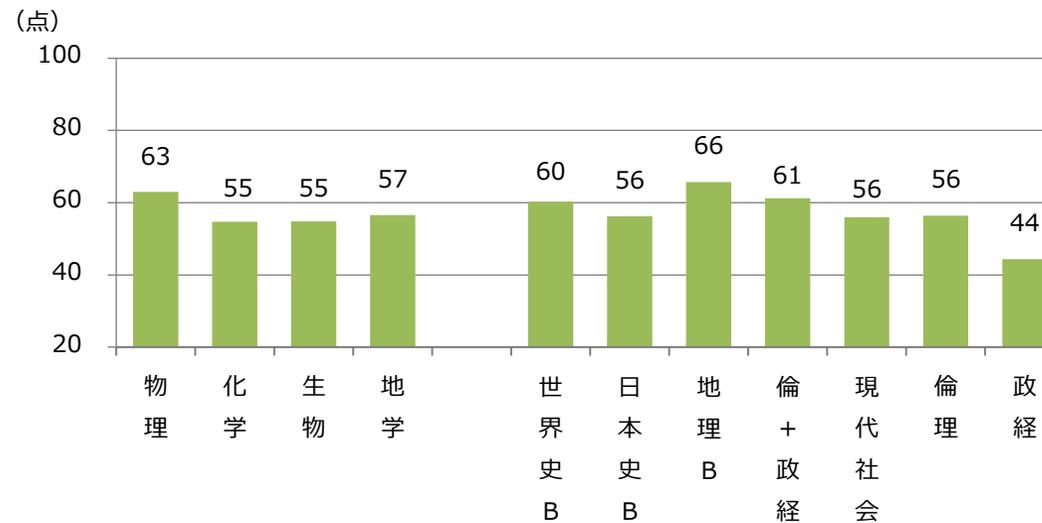
共通テスト 主要科目平均点

教科・科目		昨年	今年	差	
英語 リーディング (R)		53.8	51.5	-2.3	
英語 リスニング (L)		62.4	67.2	+4.9	
数 学	数学Ⅰ・数学A	55.7	51.4	-4.3	
	数学Ⅱ・数学B	61.5	57.7	-3.7	
国語		105.7	116.5	+10.8	
理 科	①	物理基礎	28.2	28.7	+0.5
		化学基礎	29.4	27.3	-2.1
		生物基礎	24.7	31.6	+6.9
		地学基礎	35.0	35.6	+0.5
	②	物理	63.4	63.0	-0.4
		化学	54.0	54.8	+0.8
		生物	48.5	54.8	+6.4
		地学	49.9	56.6	+6.8
地 歴 ・ 公 民	世界史B	58.4	60.3	+1.9	
	日本史B	59.8	56.3	-3.5	
	地理B	60.5	65.7	+5.3	
	倫理,政治・経済	60.6	61.3	+0.7	
	現代社会	59.5	55.9	-3.5	
	倫理	59.0	56.4	-2.6	
	政治・経済	51.0	44.4	-6.6	

※大学入試センター資料より
 ※昨年の化学、生物の平均点は得点調整後のもの



※国語・理科基礎は100点満点に換算



※グラフは2024年度平均点

国公立大学のボーダー得点率

大学名	学部名		ボーダー 得点率	ランク偏差値	型
筑波	人文・文化	人文	76	65.0	文型
筑波	理工	応用理工	76	57.5	理型
埼玉	理	基礎化学	68		理型
埼玉	経済	経済（一般選抜枠）	67	55.0	文型
宇都宮	データサイエンス経営	データサイエンス経営	63	47.5	選択型
群馬県立女子	文	英米文化	61	45.0	3-3
群馬	共同教育	学校-国語	60		6-7
高崎経済	地域政策	5教科5科目	60	50.0	5-5
香川	農	応用生物科学	57	47.5	理型
宇都宮	工	基盤工（化学系）	56	45.0	理型
群馬	理工	電子・機械	56	42.5	理型
群馬県立県民健康科学	看護	看護	56		5-5
山形	工	高分子・有機材料工	55	45.0	理型
前橋工科	工	情報・生命工	50	37.5	5-7
公立鳥取環境	環境	環境A方式	48	45.0	5-6
高知工科	理工	A方式	47	42.5	5-7

国公立大の志願状況①（全体概況）

国公立大志願者数の変化

■ 全体概況

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
前期日程	231,415	232,342	+927	100%
後期日程	160,068	159,846	-222	100%
中期日程	31,663	31,068	-595	98%

■ 国立・公立別（前期日程）

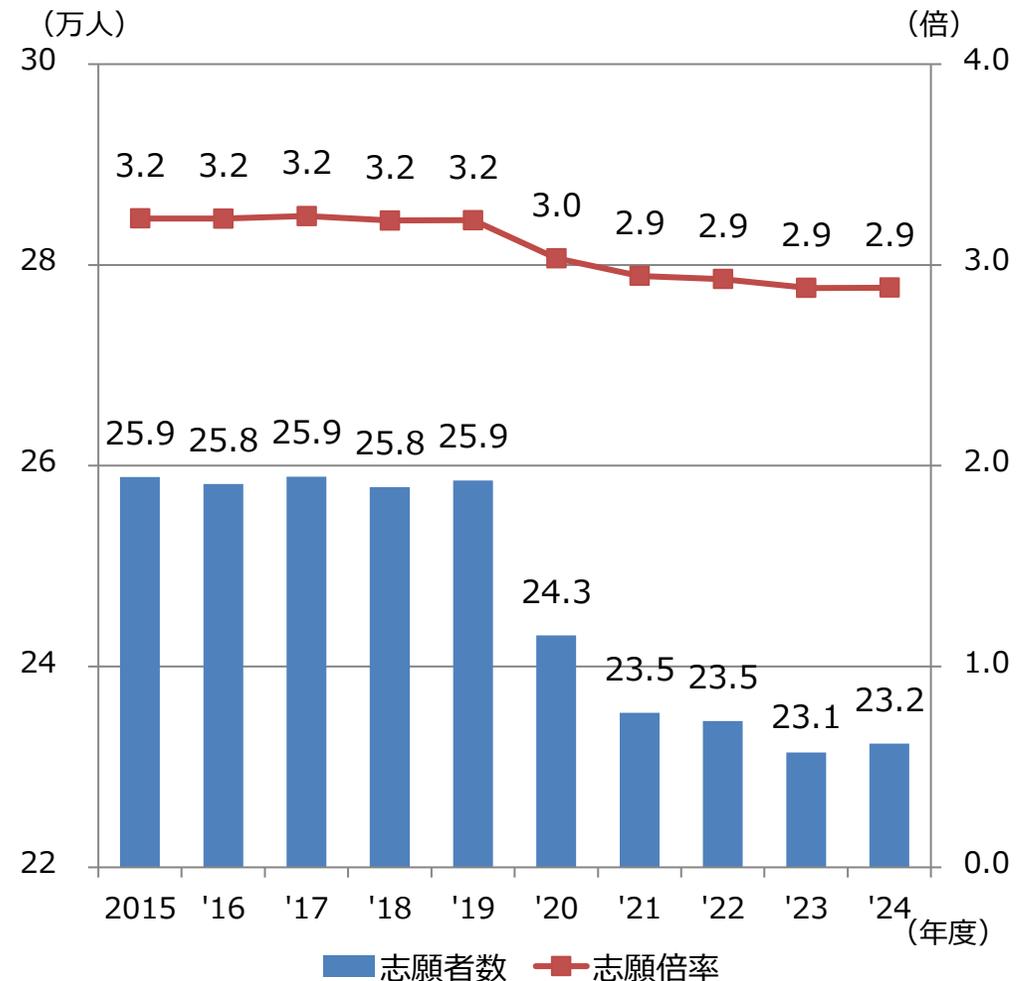
	2023年度	2024年度	前年差	前年比
国立大学	176,447	177,519	+1,072	101%
公立大学	54,968	54,823	-145	100%

■ 地区別（前期日程）

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
北海道	11,231	11,203	-28	100%
東北	17,620	17,255	-365	98%
関東・甲信越	71,124	71,826	+702	101%
北陸・東海	31,246	30,195	-1,051	97%
近畿	40,218	40,860	+642	102%
中国・四国	30,104	29,790	-314	99%
九州	29,872	31,213	+1,341	104%

※河合塾調べ

前期日程志願者数の推移



※河合塾調べ

※グラフは確定志願者数の推移と志願倍率

※志願倍率 = 志願者数 ÷ 募集人員

大学名	学部学生数	教員数	教員一人当たり 学生数
東京	13,974	2,336	6.0
山形	7,284	511	14.3
茨城	6,764	440	15.4
宇都宮	4,069	335	12.1
群馬	5,035	411	12.3
埼玉	6,675	356	18.8
早稲田	37,827	1,213	31.2
慶應義塾	28,747	1,295	22.2
明治	32,261	816	39.5

※教員は教授・准教授

学問を究めたいのであれば国公立大学がおすすめ

北海道大学	とにかくキャンパスが広い。設備もすばらしい。北大生になって、日本、世界を見る視野も広がった気がする。 前身が札幌農学校ということもあり「農学部といえば北大」という教員も多い。
滋賀大学	伝統ある国立大なので、教授陣の講義はすばらしいです。経済学・経営学に興味があればお勧めです。
三重大学	ウミガメ、スナメリの研究で有名です。
東京海洋大学	全国の水族館館長は、多くがここ出身。海洋生物の最先端の研究ができます。 船舶を中心とした機械工学系もあります。
京都工芸繊維大学	蚕(カイコ)研究では世界有数。デザイン系もあり、他大学とは一味違う国立理系大学。 半導体業界就職率ランキングでは東京科学大学、電気通信大学に次ぐ3位でした。
山梨大学	ワインを専門に研究する学科がある。醸造学・発酵学を深く学べます。

私立大の志願状況①（全体概況）

私立大志願者数の変化

■全体概況

	2023年度	2024年度	前年差	前年比
全体	2,448,053	2,462,110	+14,057	101%
一般方式	1,629,533	1,619,188	-10,345	99%
共通テスト方式	818,520	842,922	+24,402	103%

※数値は3/22現在河合塾調べ、私立131大学の集計

※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

■大学グループ別

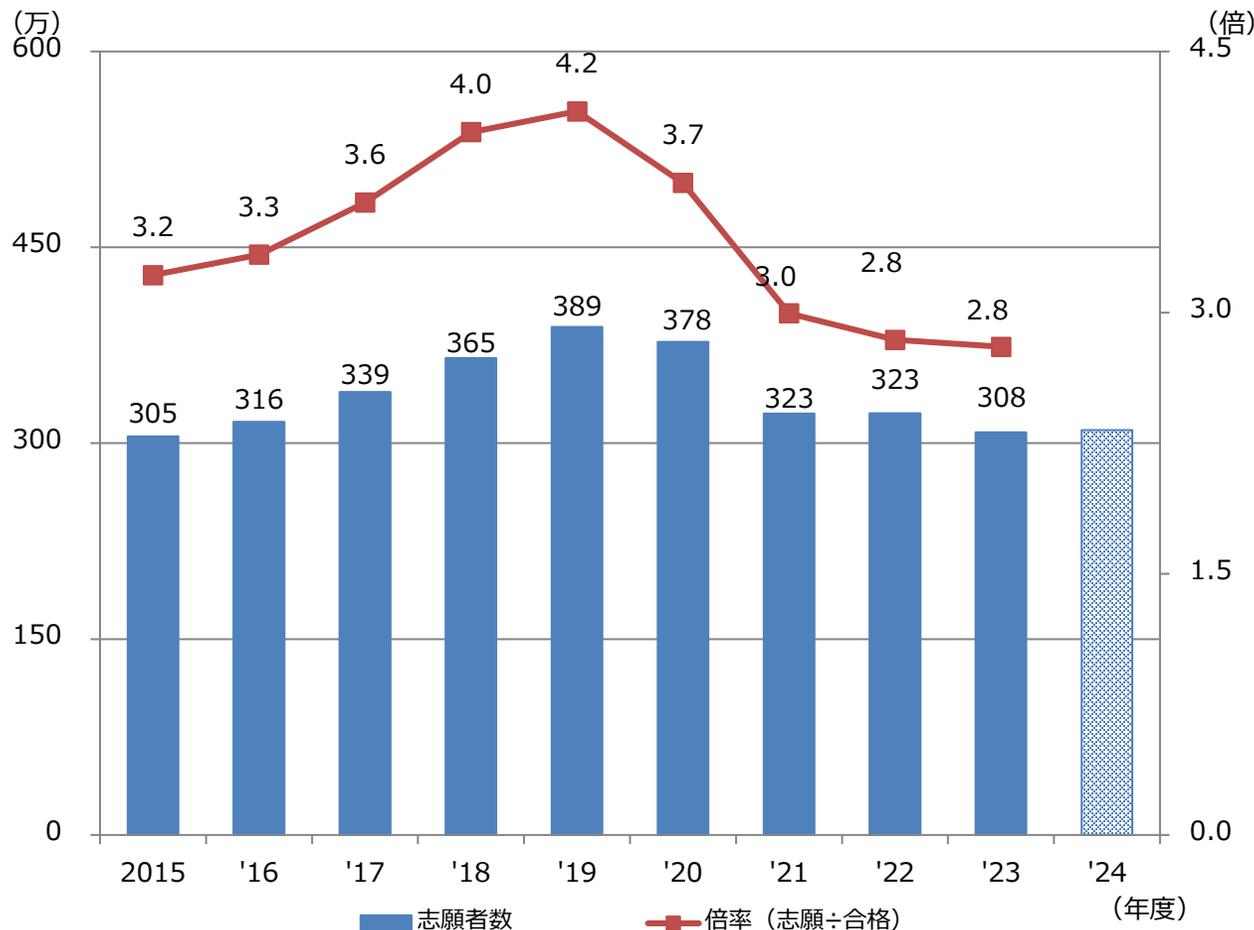
		2023年度	2024年度	前年差	前年比
首都圏	早慶上理	205,540	208,850	+3,310	102%
	MARCH	376,006	379,975	+3,969	101%
	成成明國武	91,784	99,827	+8,043	109%
	日東駒専	258,692	257,844	-848	100%
	首都理系大	304,768	301,633	-3,135	99%
	首都女子大	50,788	48,738	-2,050	96%
近畿圏	関関同立	260,279	269,305	+9,026	103%
	産近甲龍	259,657	248,266	-11,391	96%
北星学園・北海学園		8,302	8,211	-91	99%
東北学院		12,727	12,203	-524	96%
南山・愛知・中京・名城		104,290	106,444	+2,154	102%
西南学院・福岡		60,953	60,937	-16	100%

※数値は3/22現在河合塾調べ

※志願者数が未公表の入試方式は集計対象外

(大学グループ)

早慶上理：早稲田・慶應義塾・上智・東京理科 MARCH：明治・青山学院・立教・中央・法政
 日東駒専：日本・東洋・駒澤・専修 成成明國武：成蹊・成城・明治学院・國學院・武蔵
 首都理系：千葉工業・北里・工学院・芝浦工業・東京工科・東京電機・東京都立・東京農業
 首都女子：大妻女子・学習院女子・共立女子・実践女子・白百合女子・昭和女子・津田塾・東京家政・東京女子・日本女子
 関関同立：関西・関西学院・同志社・立命館 産近甲龍：京都産業・近畿・甲南・龍谷



※文部科学省資料より

※グラフは私立大一般入試最終志願者数・倍率の推移(2024年度は推定)

入試のしくみ

大学入試の種類

総合型選抜
(旧：AO入試)

出願時期：9月以降
合格発表：11月以降

- 受験生の適性、志望動機を重視。面接を中心に時間をかけて選抜を行う。

**学校推薦型
選抜**
(旧：推薦入試)

出願時期：11月以降
合格発表：12月以降

- 名前の通り、原則学校長の推薦を受けることで受験できる入試。

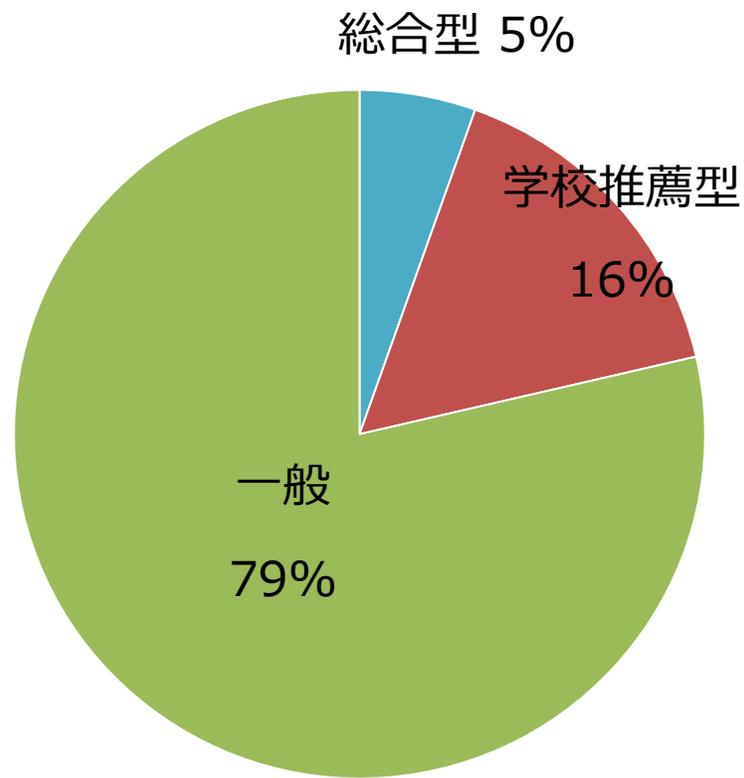
一般選抜
(旧：一般入試)

試験期日：2/1～3/25
合格発表：3/31まで

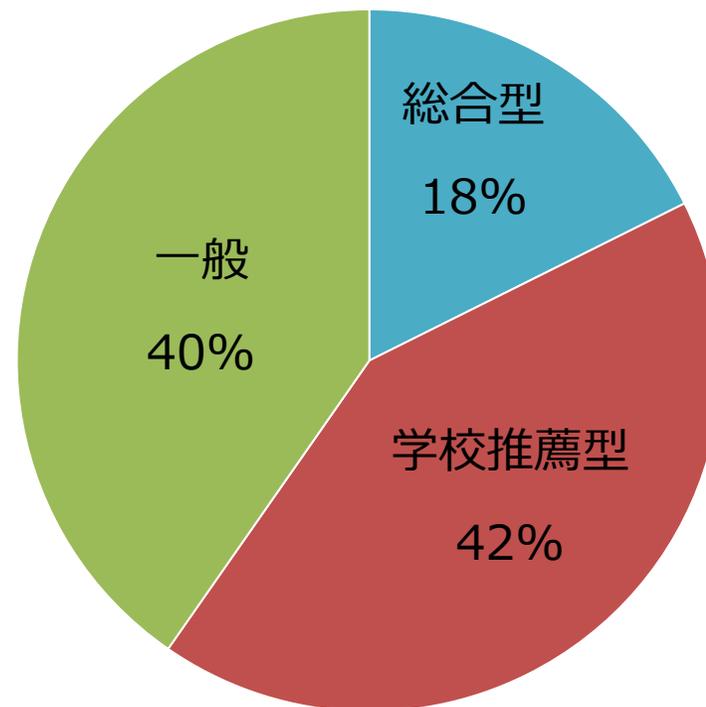
- 主に学力試験で選抜を行う入試。

どの入試で入学している？

国公立大学



私立大学



国公立大の一般選抜

ポイント① 共通テストと2次試験で合否判定

共通テスト

+

大学個別試験
(2次試験)



合
否
判
定

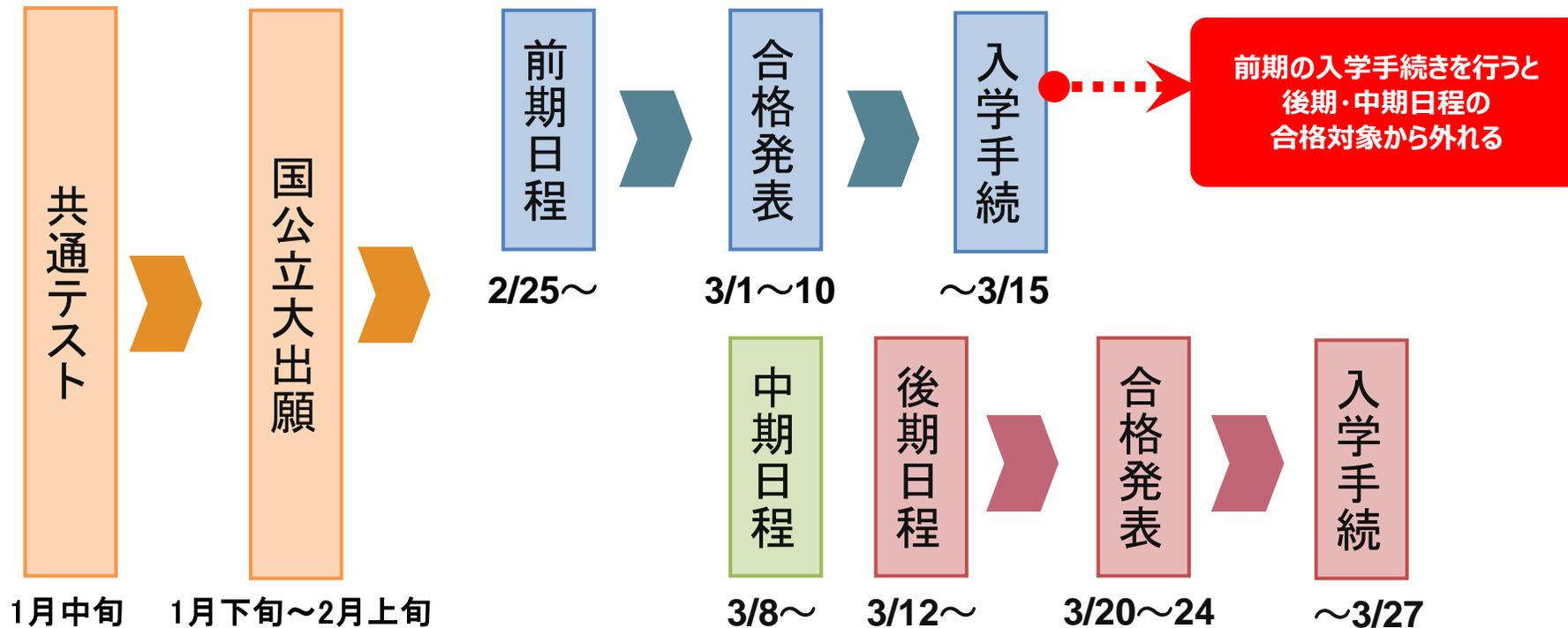
1月中旬の土日

2月下旬～3月
各大学が実施



国公立大の一般選抜

ポイント② 2次試験は分離・分割方式で実施



- 国公立大学は最大3回(前期+中期+後期)の受験が可能
- 第1志望校は前期受験が鉄則

国公立大の一般選抜

ポイント② 2次試験は分離・分割方式で実施

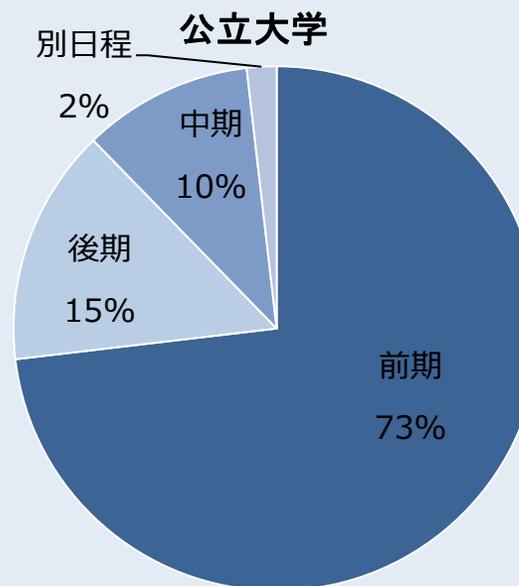
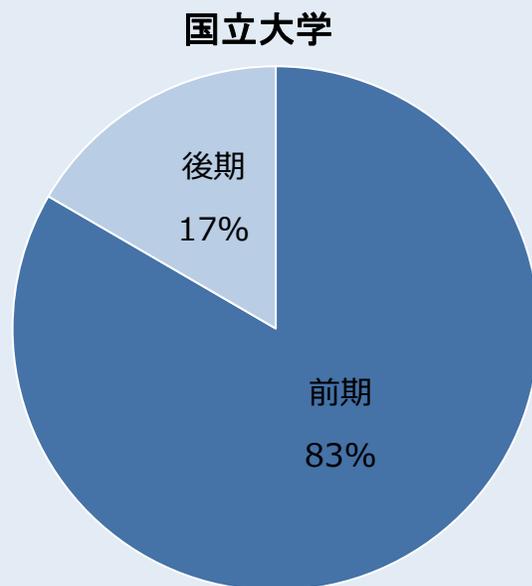
- 募集人員の約 8 割は前期で募集
- 後期日程を廃止・縮小する大学が増加
- 中期日程は一部の公立大のみ実施



最大 3 回の受験が可能だが...

前期中心の受験システム

一般選抜 日程別募集人員の割合



国公立大の一般選抜

ポイント③ 入試科目・配点は大学により異なる

共通テスト

2025年度入試より共通テストに教科「情報」が出題される

- **国立大学 8割近くが8科目以上を課す**

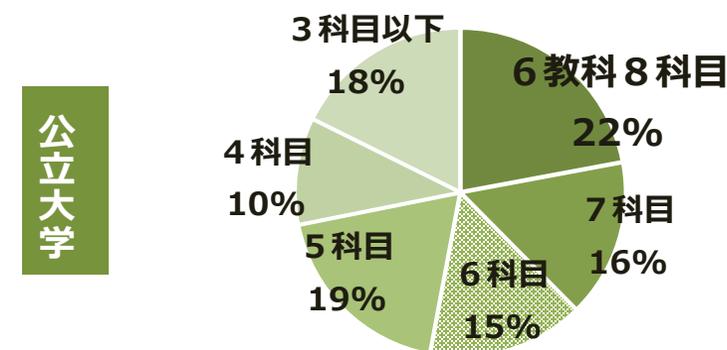
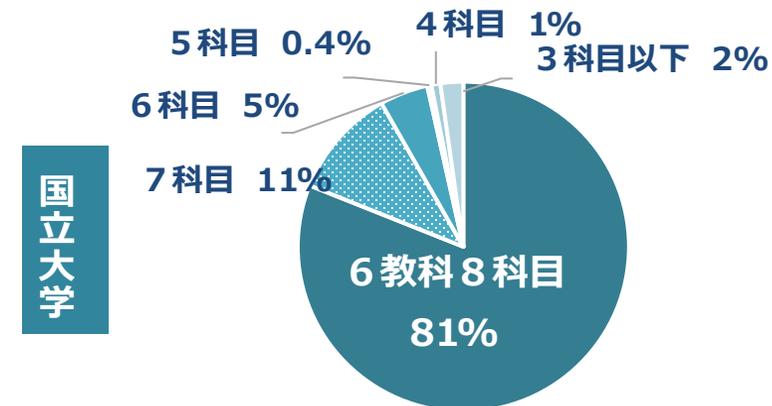
【文系】英・数2・国・理・地公2・情

【理系】英・数2・国・理2・地公・情 が一般的

- **公立大学 8科目以上を課す大学は2割程度**

理系学部は国立大学と同様の8科目が多い

共通テスト必要教科（科目）数



※河合塾調べ

国公立大の一般選抜

ポイント③ 入試科目・配点は大学により異なる

2次試験

● 前期日程の主なパターン

2～3教科の学科試験が中心

- 文系学部 外国語、国語、地歴(or公民or数学)
- 理系学部 外国語、数学、理科 が一般的

難関大学の2次試験では
文系学部で数学、理系学部で国語が
出題されることも
と、いうことは？

● 後期日程の主なパターン

小論文、総合問題、面接などの試験が多い
2次試験を課さない大学もあり



私立大の一般選抜

ポイント①

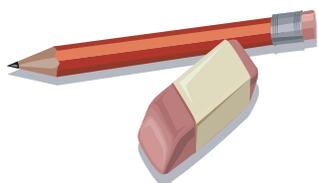
入試日程は大学により異なるため、何校でも受験できる

ポイント②

一般選抜には「一般方式」と「共通テスト利用方式」がある

ポイント③

必要な教科数は国立大より少なく2～3教科が主流
3教科型のほか、複数の入試方式が設定されていることが多い



「一般方式」の特徴

- **入試科目・問題は大学ごとに異なる**
- **教科数は2～3教科が一般的**
 - 《文系》 英・国・（地歴公民or数学）から2～3教科
 - 《理系》 英・数・理から2～3教科
- **複数の入試方式が設定されていることが多い**
 - 少数教科型・得意科目重視型・英語外部試験利用型 etc.
- **受験生が受験しやすい配慮**
 - 入試日の複数化
 - 各都市に試験会場設置
 - 複数受験で受験料割引

2024年度入試において
駒澤・芝浦工業・専修・東洋
は高崎市に会場設置

「共通テスト利用方式」の特徴

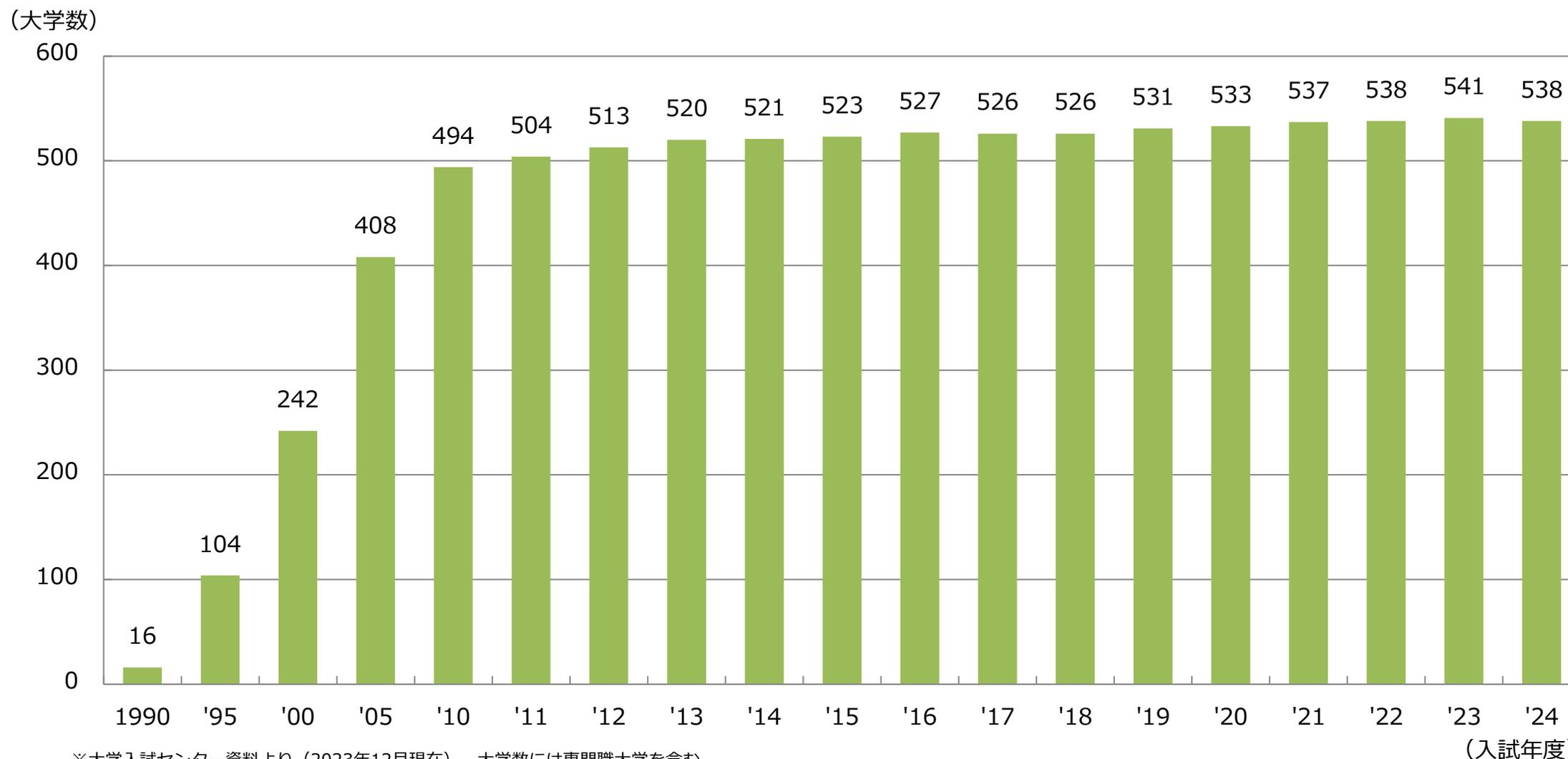
- **共通テストのみの成績で合否が決まるのが主流**
- **受験料は一般方式と比べて割安**
- **一般方式同様、複数の入試方式の設定目立つ**
- **教科数は2～3教科が一般的**
- **一般方式と組み合わせ合否判定を行う併用型もあり**

私立大受験では経済的・体力的な負担が軽い
共通テスト利用方式をうまく活用したい



(参考)ほとんどの大学が共通テスト利用入試を実施

(センター試験・共通テスト利用私立大学数の推移)



※大学入試センター資料より(2023年12月現在)、大学数には専門職大学を含む

学校推薦型選抜と総合型選抜

大学入試の種類

総合型選抜
(旧：AO入試)

出願時期：9月以降
合格発表：11月以降

- 受験生の適性、志望動機を重視。面接を中心に時間をかけて選抜を行う。

**学校推薦型
選抜**
(旧：推薦入試)

出願時期：11月以降
合格発表：12月以降

- 名前の通り、原則学校長の推薦を受けることで受験できる入試。

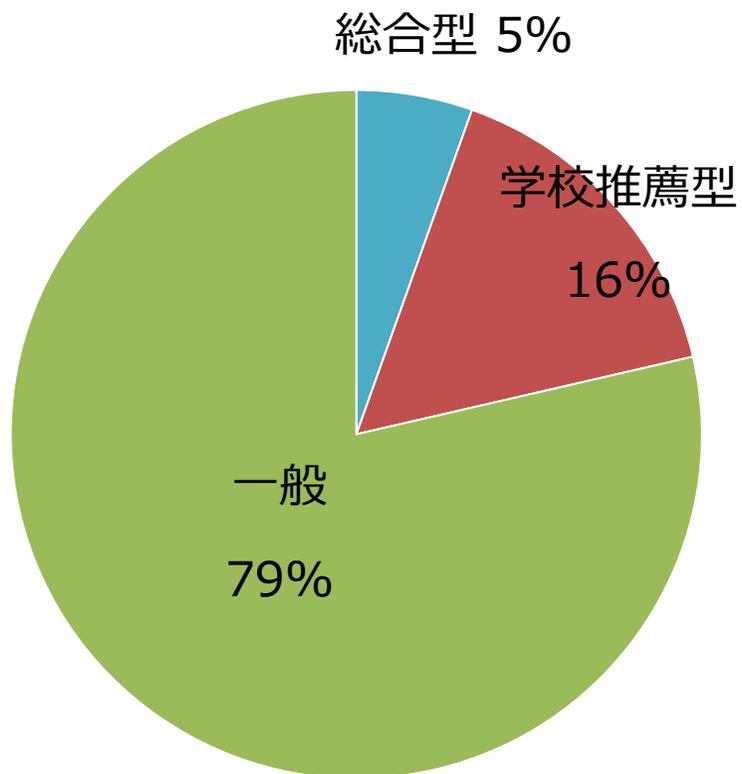
一般選抜
(旧：一般入試)

試験期日：2/1～3/25
合格発表：3/31まで

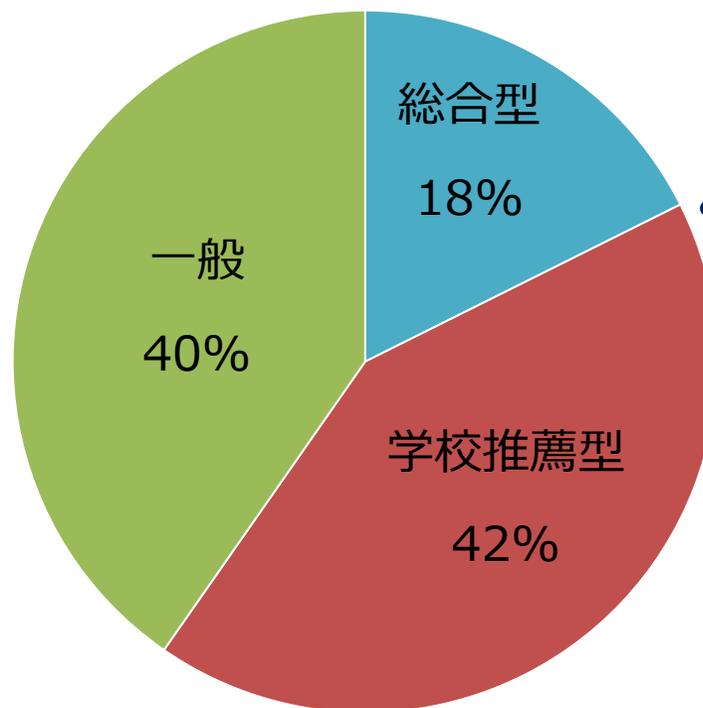
- 主に学力試験で選抜を行う入試。

どの入試で入学している？

国公立大学



私立大学



私立大学入試では
入学者定員の
半数以上は
いわゆる年内入試に

学校推薦型選抜とは？

ポイント① 学校長の推薦が原則必要
出願条件に学業成績基準・現浪制限などあり

公募制

- 出願条件をクリアすればどの高校からも出願可能
- 私立大では併願を認める大学も多い

倍率が高い大学も
多い

指定校

- 大学が指定する高校の生徒が対象
- 専願での出願が基本…合格率は高い

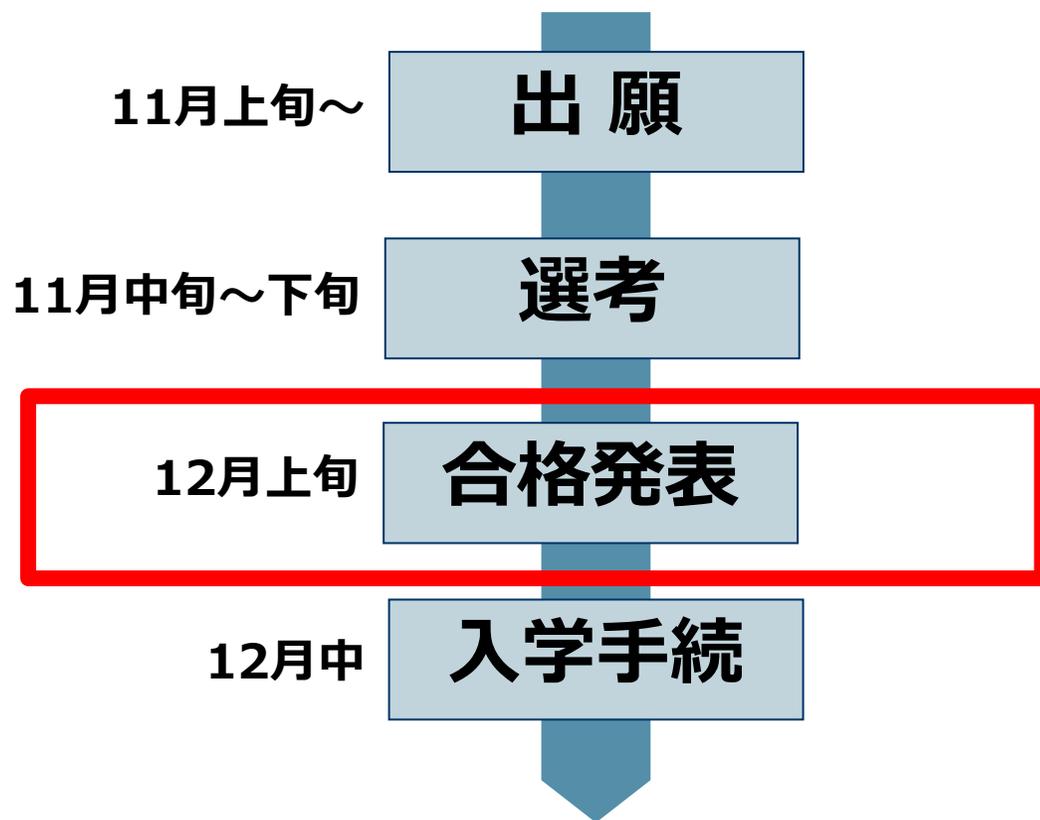
その他

- 有資格者推薦・スポーツ推薦・課外活動推薦など

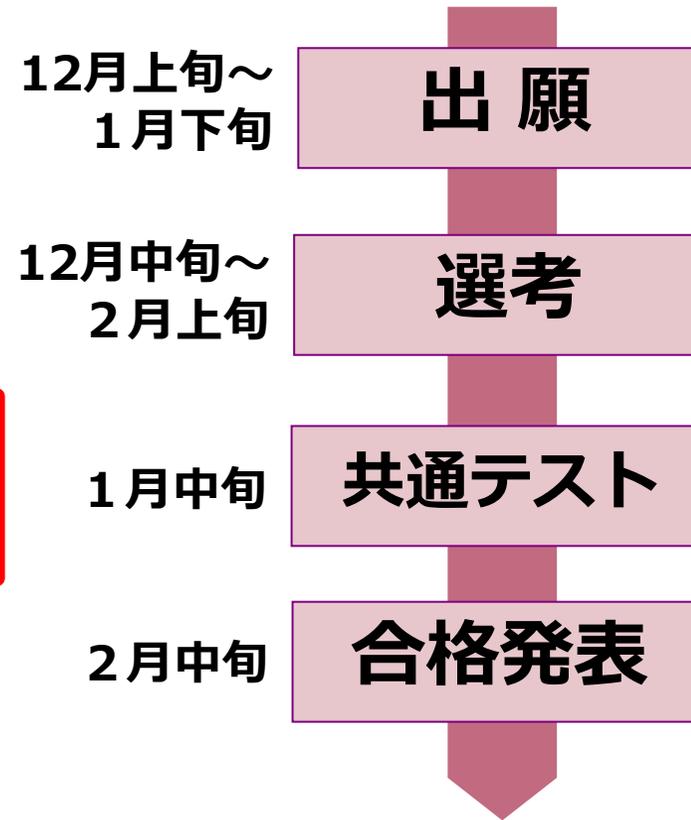
学校推薦型選抜とは？

**ポイント② 一般選抜よりも早いスケジュール
国公立大は共通テストを利用する場合あり**

＜一般的な入試スケジュール＞



＜国公立大の共通テストを課すタイプ＞



学校推薦型選抜とは？

ポイント③ 選考は書類審査・小論文・面接など

● 書類審査

- ◆ 基本は「調査書」＋「学校長の推薦書」
- ◆ 志願者本人作成の資料（志望理由書、活動報告書など）が必要なケースも

● 学力を確認する評価も必須

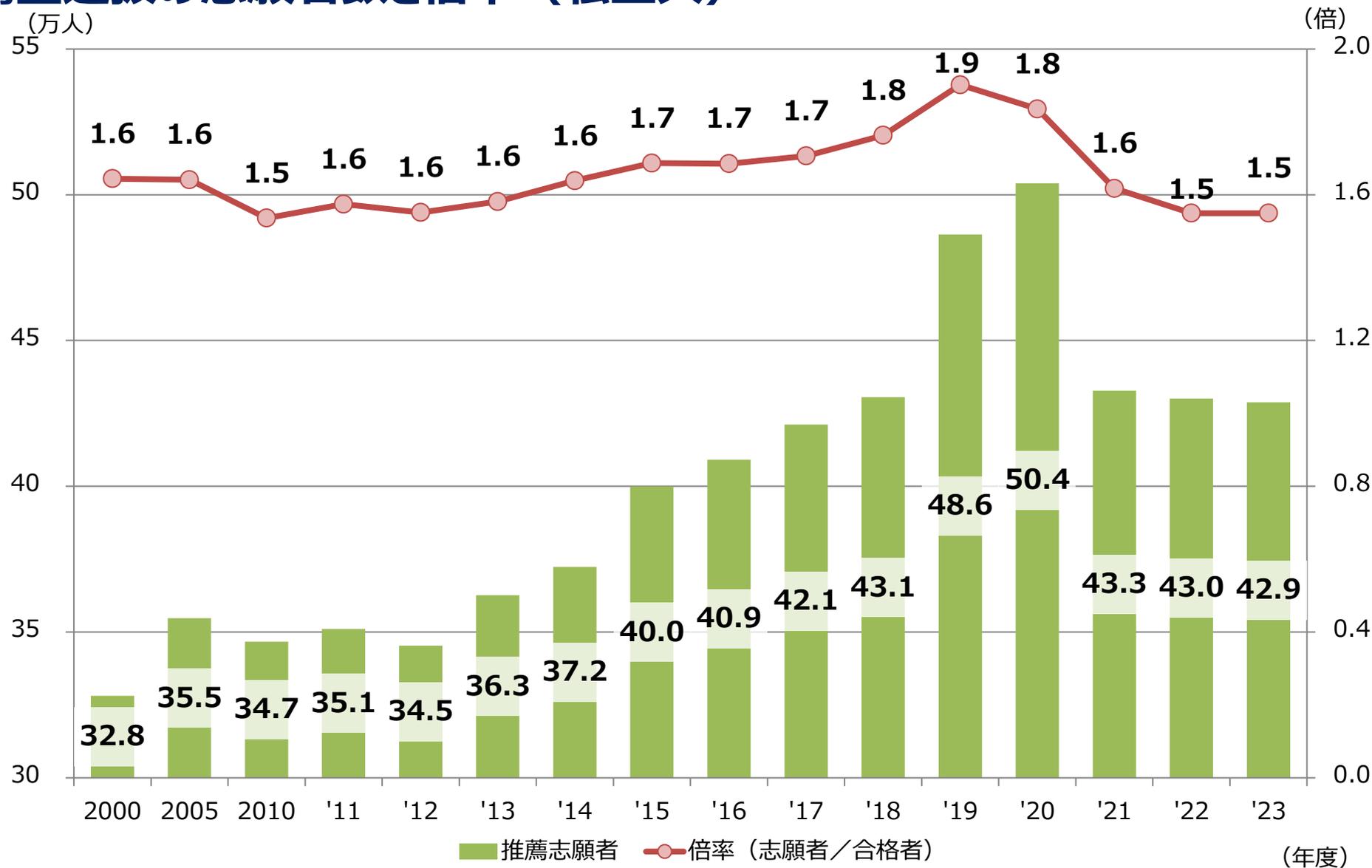
たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど

- ◆ **共通テスト**：国公立大では必須の大学も
- ◆ **小論文**：文系・理系を問わず課すケースは多い
 - ・ 志望校の傾向を把握して、早期からの練習が必要
 - ・ 英文読解などが含まれる場合あり

● 面接

- ◆ 個別面接、集団面接のほか、グループディスカッションを課すところも
- ◆ 志望理由、大学でやりたいこと、将来の希望、高校生活など
- ◆ 口頭試問が含まれる場合あり

学校推薦型選抜の志願者数と倍率（私立大）



※文部科学省資料より

総合型選抜とは？

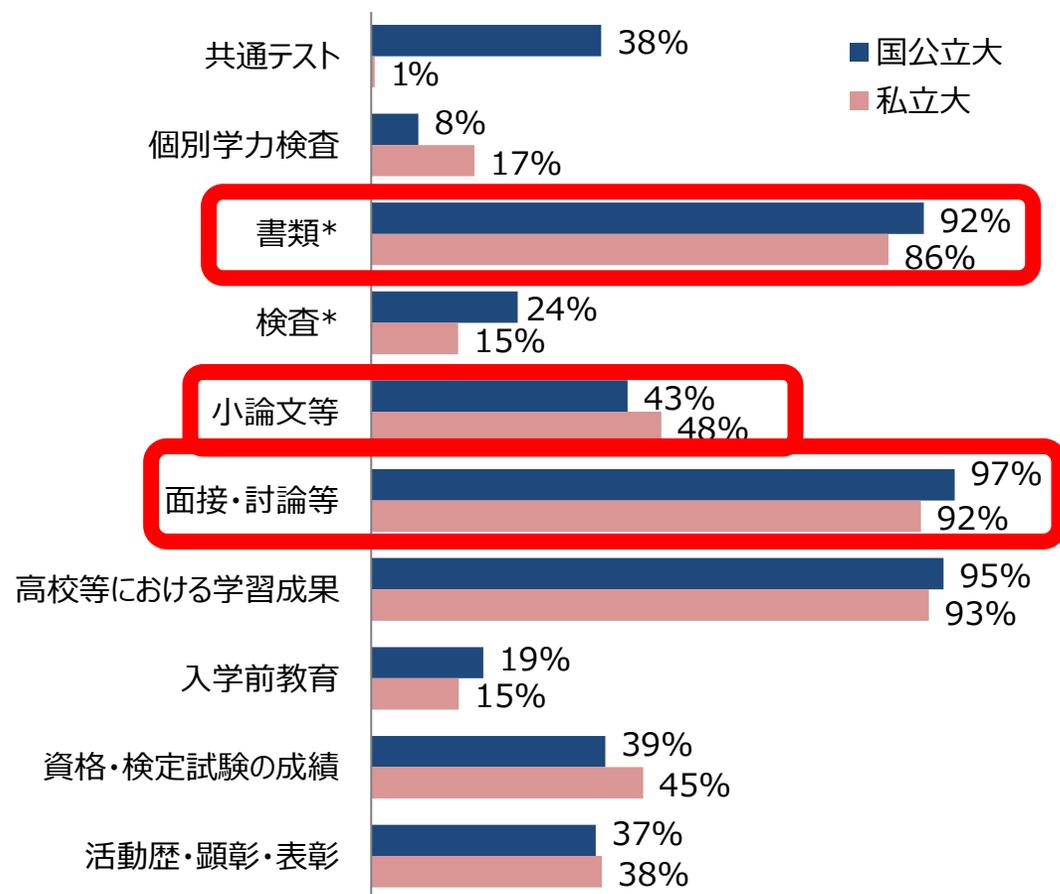
- 一般選抜・学校推薦型選抜に次ぐ**第3の入試**
- 出願期間は**9月1日**からスタートと、最も早い入試
- 書類や面接等で能力・適性・意欲等を**総合的に判定**
- **高い学習意欲・明確な目的意識が必須**
面接を中心に**時間をかけて適性・能力が判定される**
- **学力を確認する評価も必須**
たとえば…小論文、プレゼンテーション、口頭試問、実技、学科試験、資格・検定試験の成績、共通テストなど

- **国公立大、難関私立大では高倍率入試も目立つ**



総合型選抜における評価方法

● 評価方法別 利用率（2022年度入試）



● 学力を確認する評価について

国公立大では、約4割の区分で共通テストを課す一方、私立大ではほとんどみられない。

小論文を課す区分は国公私ともに4割を超えている。面接では、口頭試問やプレゼンテーションを課す割合が他の選抜より高い。

● 提出書類の利用について

提出書類は、国公私問わず高い割合で利用されている。なかでも、入学希望理由書・学修計画書等が77%と高い利用率。

● 活動歴・顕彰・表彰

国際科学オリンピックの結果、各種大会の記録、英語のディベート・スピーチ大会などの成績、海外留学経験などの資料を利用する率が高い。

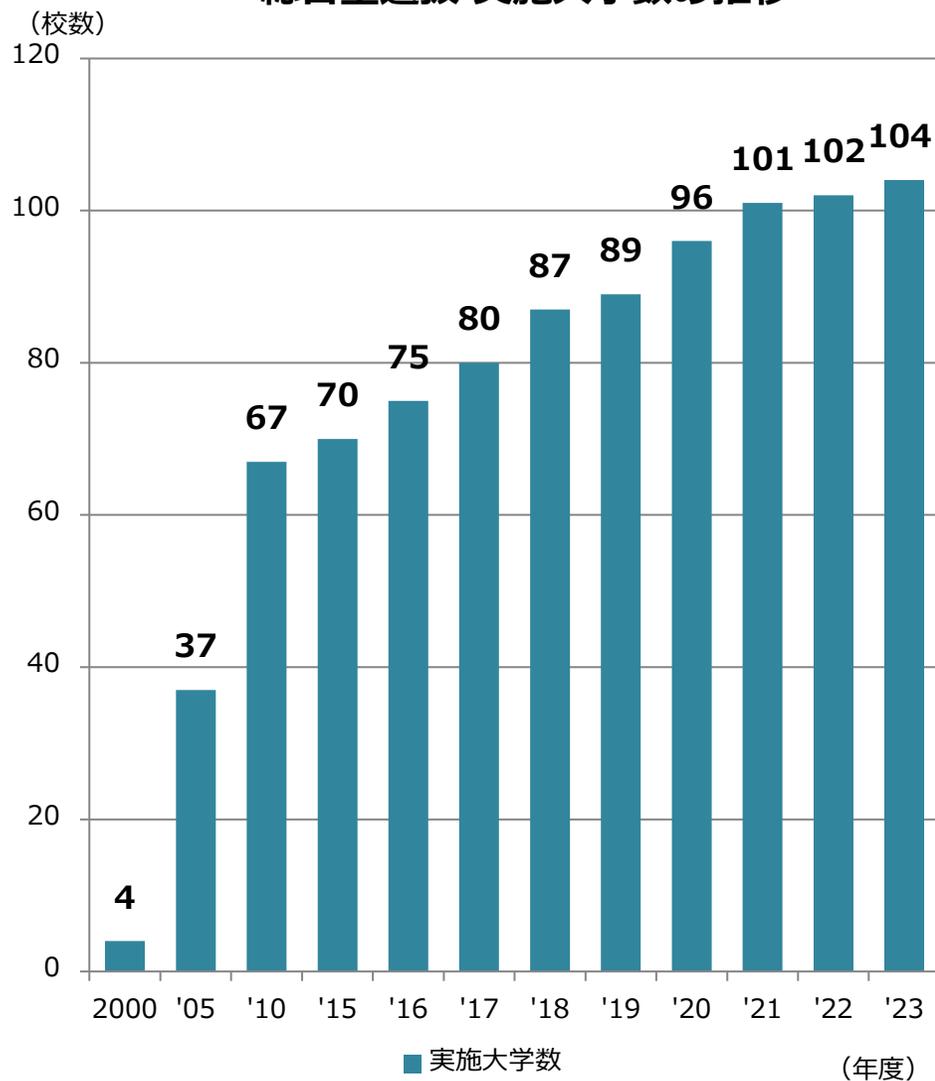
※文部科学省「大学入学者選抜の実態の把握及び分析等に関する調査研究（令和4年度）」より

※数値は2022年度総合型選抜に関するもので、複数回答あり

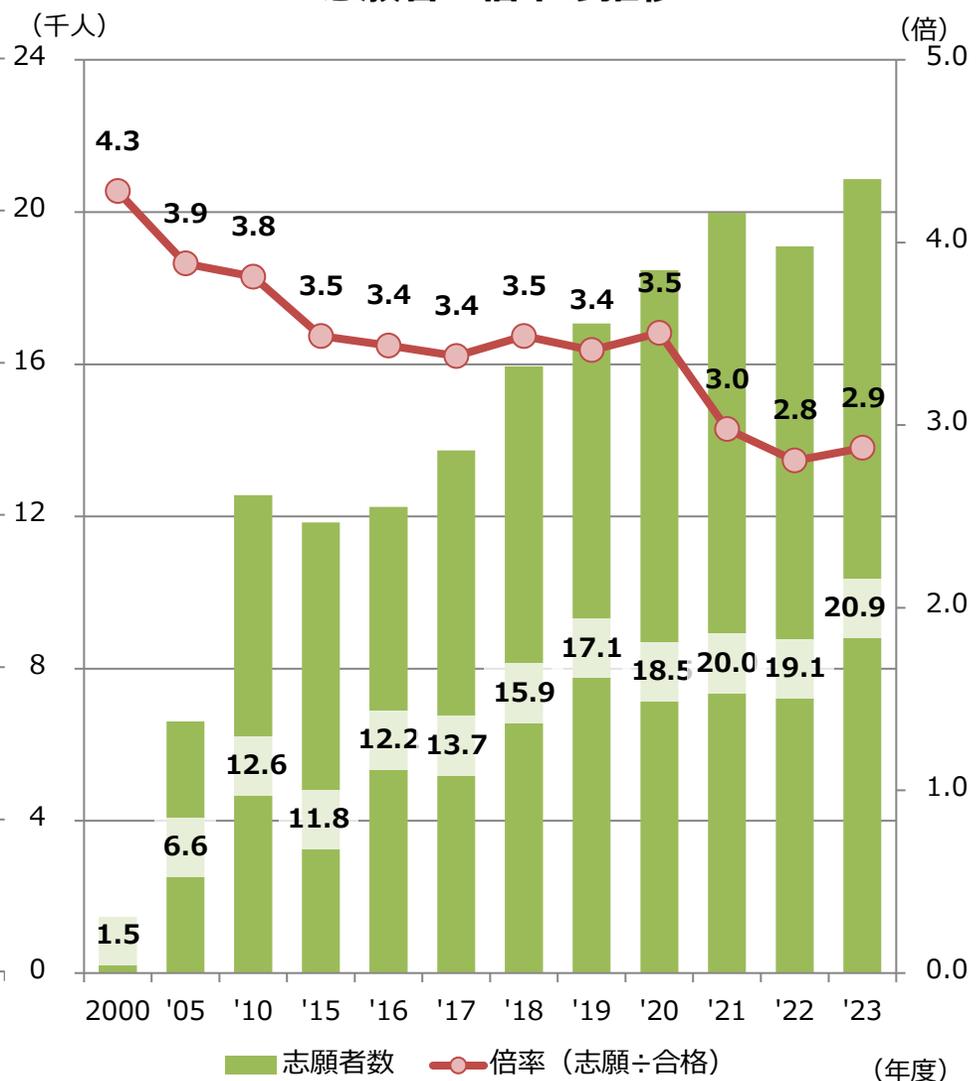
*検査…基礎学力把握のための筆記による簡易な検査・適性検査・実技検査等、書類…推薦書・志望理由書・活動報告書等、高校等における学習成果…調査書・評定平均値・学習成果に関する資料等、入学前教育…模擬講義・事前課題等

総合型選抜の実施状況（国公立大）

総合型選抜 実施大学数の推移



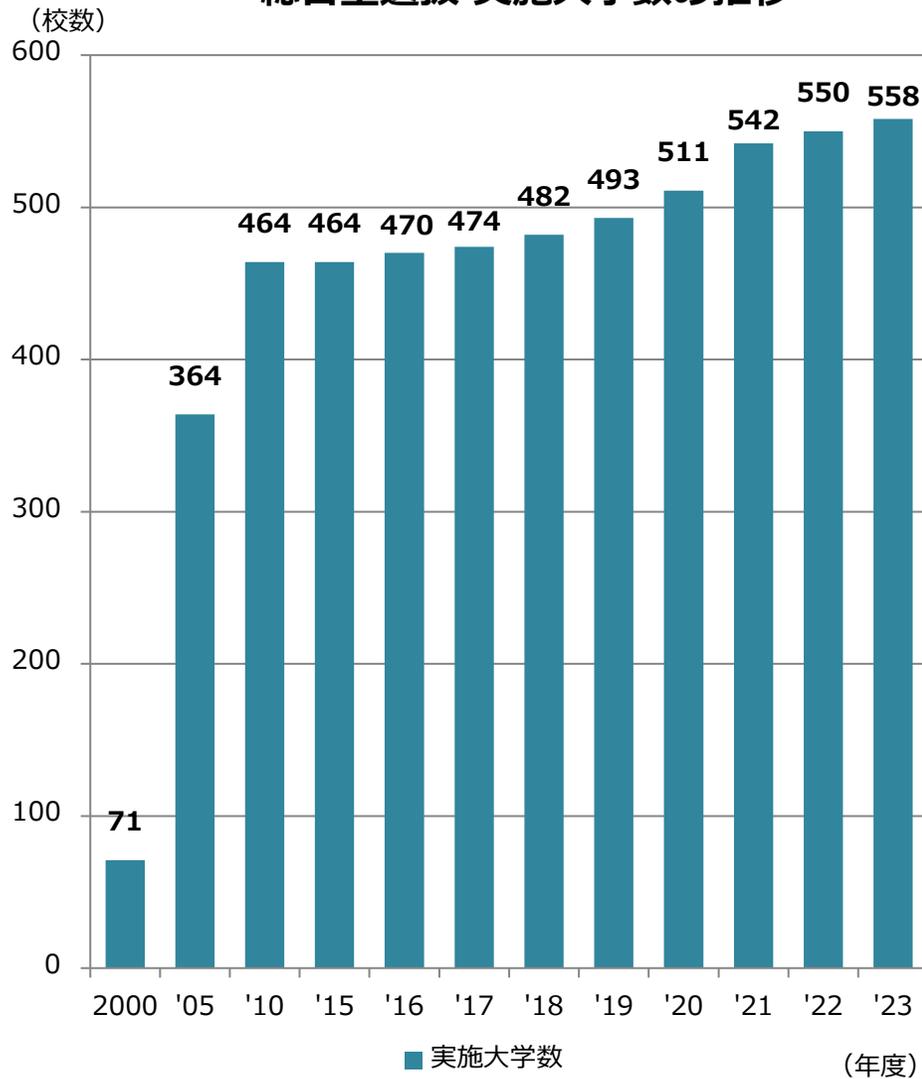
志願者・倍率の推移



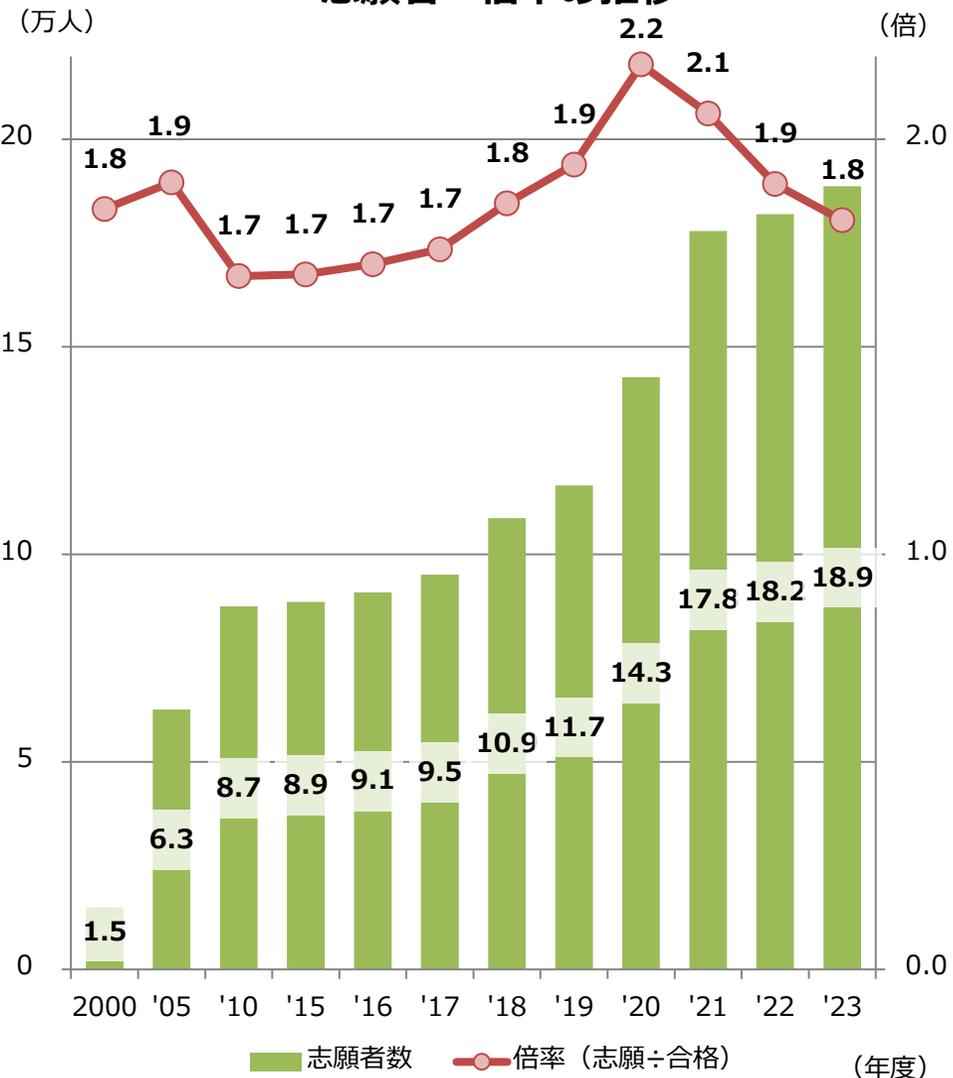
※文部科学省資料より

総合型選抜の実施状況（私立大）

総合型選抜 実施大学数の推移



志願者・倍率の推移



※文部科学省資料より

学校推薦型選抜・総合型選抜 準備の心構え

- 合格したら**入学する意思**をもつこと
 - 学校推薦型選抜・総合型選抜はあくまでも**第1志望校**の受験機会の拡大として活用

- **早期の受験準備**・出願校の決定が必要
 - 一般選抜とは異なる受験準備が必要
 - 一般選抜の勉強を並行して継続すること

- 受験準備に**多大な労力**がかかる場合あり
 - 国公立大・難関私立大では入念な受験準備が必要
 - 受かり易いイメージから対策が甘くなりがち

2025年度からの新課程入試

2025年度入試の注目ポイント－教育課程の改訂に対応した入試スタート

ここに注目！

共通テストの変更点

- 新科目「情報Ⅰ」登場（試験時間60分、配点100点）
- 「国語」は「近代以降の文章」が2→3問に増加、試験時間10分延長
分野別の配点は、近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点に
- 「数学②」は『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』の1科目のみに
選択問題は1問増加して4問中3問解答、試験時間は10分延長
- 「地歴・公民」の出題科目は10→6科目に
- 理科の試験時間一本化に伴い、「理科基礎」も解答順が第1解答科目の対象に
- 得点調整に新条件
「平均点差20点以上」に加え、「平均点差15点以上かつ段階表示の区分点差20点以上」に変更
- 英語大問6題構成から大問8題構成へ（予定）

共通テストの変更点

教科	出題科目	解答時間	配点	備考
外国語	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	80分	200点	1科目を選択 英語はリーディングで別途リスニング (解答時間30分)を実施(配点は各100点)
数学①	数学Ⅰ 数学Ⅰ,数学A	70分	100点	1科目を選択
数学②	数学Ⅱ,数学B,数学C	70分	100点	
国語	国語	90分	200点	近代以降の文章110点、古文45点、漢文45点
理科	物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎 物理 化学 生物 地学	1科目 60分	1科目 100点	近代以降の文章の大問追加と配点変更 最大2科目選択可
地理歴史 ・公民	地理総合/歴史総合/公共 地理総合,地理探究 歴史総合,日本史探究 歴史総合,世界史探究 公共,倫理 公共,政治・経済	1科目 60分	1科目 100点	最大2科目選択可 (組み合わせ制限あり)
情報	情報Ⅰ	60分	100点	教科「情報」の出題

③

数学②・国語
試験時間
10分延長

④

近代以降の文章の大問追加と配点変更

①

新課程に対応
した出題科目

⑤

理科①②の試験時間一本化

②

教科「情報」の出題

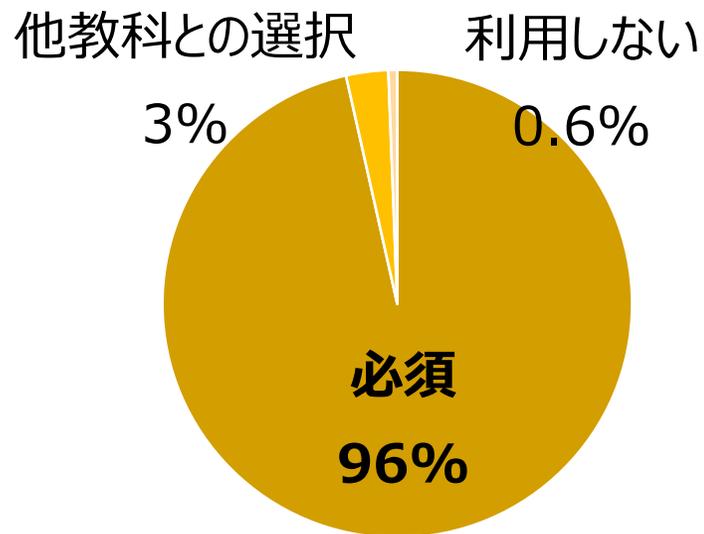
共通テスト時間割 (イメージ)

	1日目	2日目
9:30	9:30※～11:40 (130分) 地理歴史・公民 (2科目) ※ 1科目受験者は10:40～	9:30※～11:40 (130分) 理科 (2科目) ※ 1科目受験者は10:40～
13:00	13:00～14:30 (90分) 国語	13:00～14:10 (70分) 数学①
	15:20～16:40 (80分) 外国語	15:00～16:10 (70分) 数学②
	17:20～18:20 (60分) 英語リスニング	17:00～18:00 (60分) 情報

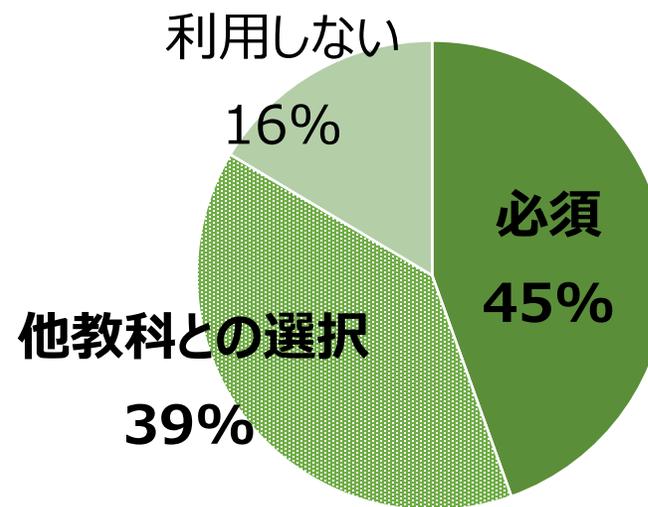
国公立大 共通テスト「情報Ⅰ」の設定状況

- ・国立大ではほぼ「情報」必須。選択・課さない大学は一部にとどまる
- ・公立大は対応分かれる。少数教科を課すところでは選択科目とするケースが多い

国立大学



公立大学



必須の大学

旧帝7大、筑波大、千葉大、東京科学大、一橋大、神戸大、岡山大、広島大、長崎大、札幌医科大、宮城大、大阪公立大 など

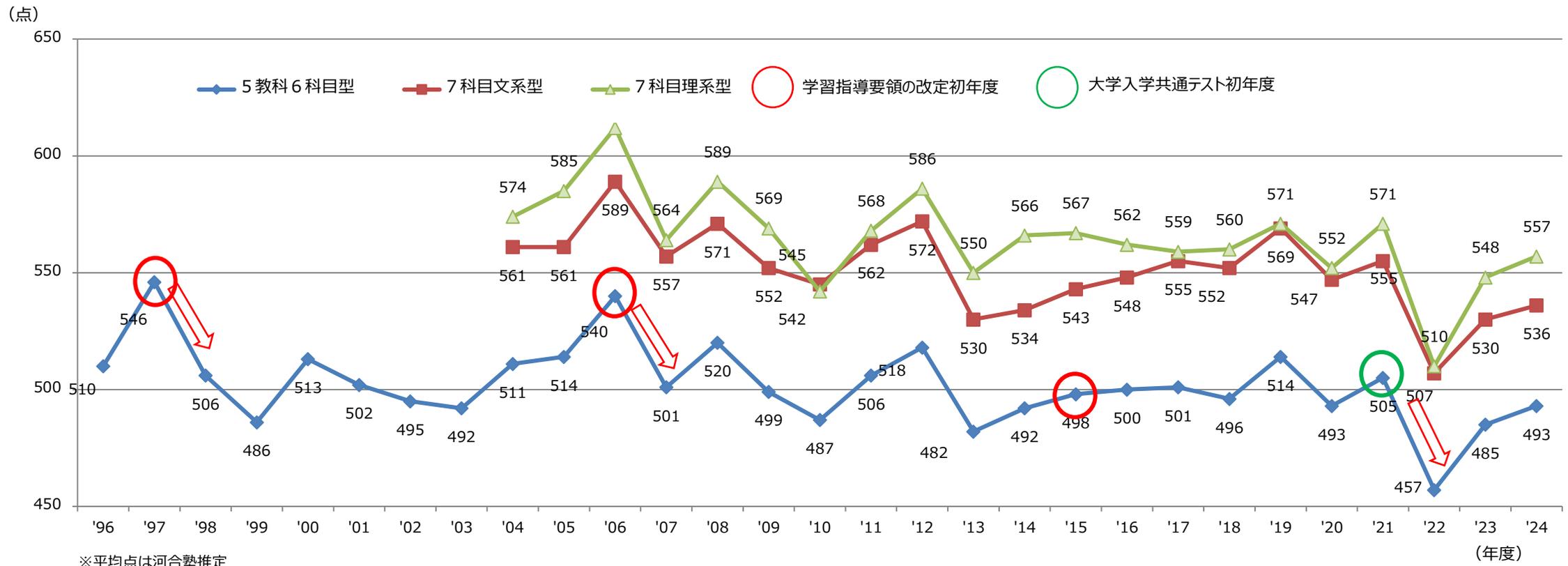
他教科との選択にする大学

北見工業大、信州大(人文)、山口大(共同獣医など)、名古屋市立大(経済など)、北九州市立大(文、外国語など)など

課さない大学

金沢大(文系一括、理系一括)、東京都立大(法)、愛知県立大(外国語など)、京都府立大(文、公共政策など)、九州歯科大など

センター試験・共通テスト 総合型平均点の推移



学習指導要領の改定に伴い、試験内容を一部改定した年度は総合型平均点が前年度と比べUPする傾向が見て取れる。また、翌年度は総合型平均点が大きくダウンする傾向も見て取れる。改定初年度は万全の対策を立てる学校が多いが、過去の傾向から現高校2年生への対策が重要であるといえる。

大学進学にかかる費用

大学進学にかかる費用



受験
費用

学費

生活費

大学受験にかかる費用

種類	受験料
大学入学共通テスト	18,000円
国公立大 2次試験	17,000円
私立大 一般方式	30,000～35,000円
共通テスト利用方式	10,000～20,000円

※大学入学共通テストは3教科以上を受験する場合のもの。2教科以下は1.2万円。成績開示希望者は+800円が必要

※国公立大2次試験の受験料は平均的な金額

※私立大は一般的な学部額。医学部では一般方式5～6万円、共通テスト利用方式3～4.5万円が一般的な額

国公立大2校・私立大2校受験するとしたら・・・

18,000円（共通テスト） + 34,000円（国公立大受験） + 70,000円（私立大受験）

= 合計122,000円

大学入学にかかる費用

(初年度納付金の平均額)

■ 国立大学

(標準額) 授業料 535,800円 入学金 282,000円

■ 公立大学

(平均額) 授業料 536,191円 入学金 (地域内) 224,066円
(地域外) 374,371円

■ 私立大学

(平均額) 授業料 959,205円 入学金 240,806円
設備・実習・その他 277,329円

(参考) 授業料が標準額と異なる国立大

大 学	授業料
千葉大	642,960
東京医科歯科大	642,960
東京芸術大	642,960
東京工業大	635,400
東京農工大	642,960
一橋大	642,960

※文部科学省資料より

※金額は昼間部のもので、国立大・公立大は2023年度入学者のもの

※国公立大は授業料・入学金のほかに、私立大と同様、設備費・実習費等が必要な場合がある

私立大 初年度納付金の平均額

	授業料	入学料	施設設備費	実験実習費	その他	合計
私立大全体	959,205	240,806	165,271	28,864	83,194	1,477,339
文科系学部 (平均)	827,135	223,867	143,838	6,953	73,955	1,275,749
理・工	1,148,551	223,534	109,005	30,782	39,167	1,551,040
薬	1,433,292	332,681	310,097	28,254	73,266	2,177,590
農・獣医	1,033,471	250,752	199,543	108,004	30,606	1,622,377
医	2,656,053	1,360,098	1,063,284	290,323	1,461,294	6,831,051
歯	3,218,227	594,849	568,631	1,121	970,255	5,353,084
家政	833,396	240,020	183,698	46,046	108,159	1,411,319
芸術	1,131,010	239,945	270,491	39,275	105,473	1,786,195
保健 (看護含む)	996,528	262,142	243,128	110,052	88,278	1,700,129

※文部科学省資料より (単位: 円) ※金額は2023年度入学者のもの ※各項目のデータは一円未満を四捨五入しており、合計金額と一致しない場合がある

大学入学にかかる費用

(私立大 入学費用平均値)

種類	自宅生	下宿生
出願をするためにかかった費用	159,100	138,400
受験のための費用	55,100	96,700
入学した大学への納付金	872,300	892,100
入学しなかった大学への納付金	285,200	298,000
合格発表や入学手続きの費用	13,200	48,100
入学式出席のための費用	11,900	41,500
パソコン・教科書・教材購入費用	200,200	222,100
住まい探しの費用	—	276,700
生活用品購入費用	80,900	299,600
その他の費用	107,700	297,800
合計	1,676,200	2,340,000

※全国大学生生活協同組合連合会「2023年度保護者に聞く新入生調査報告書」より

大学生生活にかかる費用

(大学生 1ヶ月の生活費)

※平均値

		自宅生	下宿生
収入	仕送り (小遣い)	10,980	67,650
	奨学金	10,220	20,640
	アルバイト	40,910	32,340
	その他	2,240	3,670
合計		64,350	124,290
支出	食費	11,390	24,130
	住居費	330	53,020
	交通費	9,340	4,210
	書籍費・勉強費	2,810	2,970
	教養娯楽費	13,410	13,270
	電話代	1,710	3,460
	日常費・その他	7,640	9,600
	貯金・繰越	16,950	12,970
合計		63,580	123,630

- 「アルバイト収入」はコロナ禍前の水準にほぼ回復。

- 行動の制約が緩和され「教養娯楽費」「交通費」「食費」の支出が増加した一方、「貯金・繰越」が減少した。

※全国大学生協連「第58回学生生活実態調査」より (単位は円)

各費目、支出および収入合計はそれぞれの平均額のため、内訳の合計が「収入合計」「支出合計」と一致しない場合がある

大学進学にかかる費用

あくまでも一例です

受験費用

受験料・交通費
20万円

学費

入学金25万円
+
学費120万円/年

※私立大平均額
※学費は授業料+施設設備費+実験実習費等

生活費

生活準備費55万円
+
仕送り7万円/月

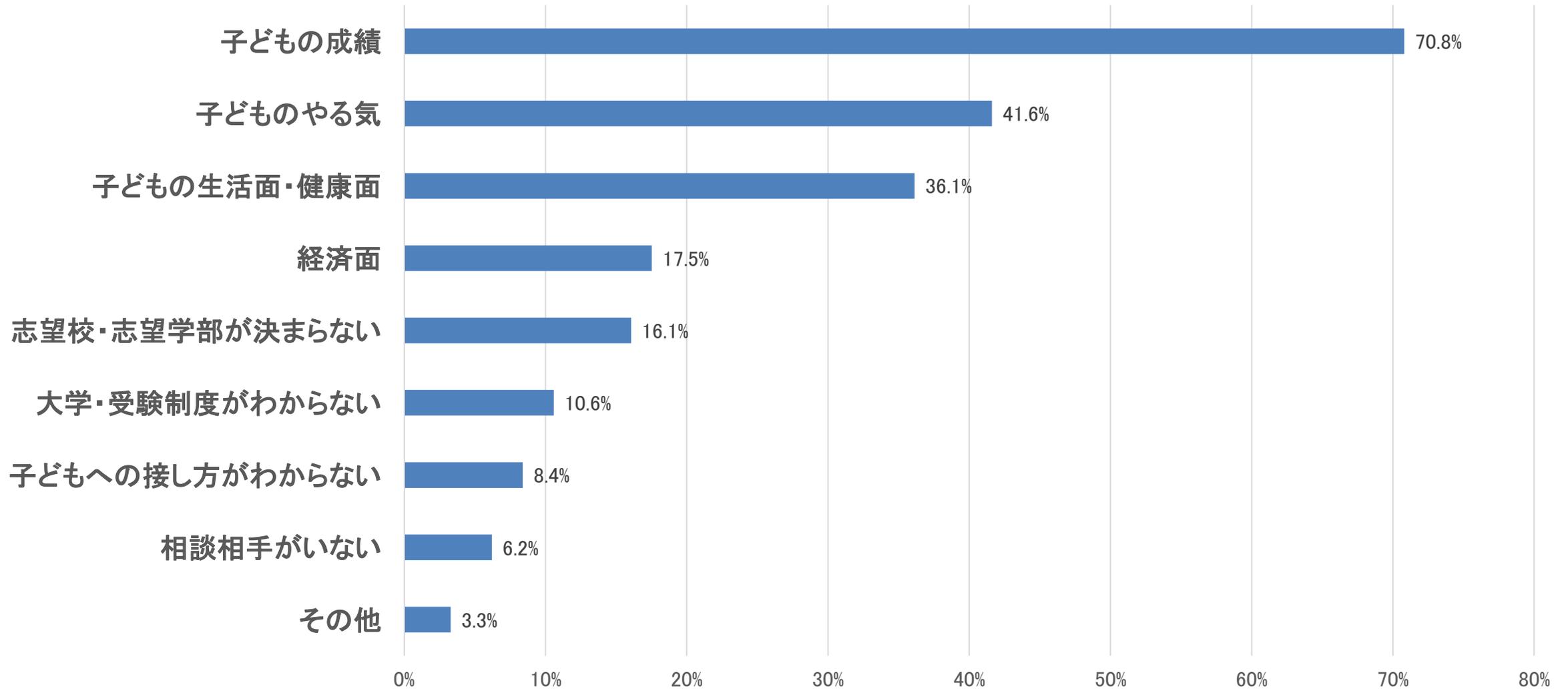
※自宅外と仮定、額は平均額

初年度費用 : 20万円 + 145万円 + 139万円 = 304万円

2~4年目 : (120万円×3年) + (7万円/月×3年) = 612万円

保護者の心構え

Q. 受験期に不安を感じたのはどのようなことですか？



☹️子どもについて言ってしまうと後悔していること

「受験期に関する保護者アンケート」より

- ◆ 次の日に本命の試験があるとき、自信があった試験の不合格を伝えてしまった。今言わないで欲しかったと、とても本人を落ち込ませてしまい、試験にも影響を与えてしまった。
- ◆ 黙って子供を見守っているつもりでも、ついつい細かな注意をしてしまった。



✓ 親が無理をしない

- 「よい受験生の親にならなければ」と力みすぎてしまうのは危険です。
- 無理をしている姿は子どもにも伝わります。かえって子どもの負担となってしまう場合もあります。

✓ 励ましの言葉はタイミングよく

- よかれと思った励ましの言葉が、受験期の子どもに重く響いてしまうこともあるようです。
- 励ましの言葉以外にも、「大丈夫なの？」「こんな点数しか取れなかったの？」「（合格が）早く決まらないの？」「落ちたらどうするの？」など、ついつい自分の不安を子どもにぶつけてしまう言葉。
- かける言葉にも、タイミングと心遣いが必要です。

☺受験について話題になったこと

※「受験期に関する保護者アンケート」より

- ◆ 今どんなことに興味があり、大学生になったらどんなことを学んでみたいのか？
- ◆ 受験する可能性のある大学の確認、オープンキャンパスや説明会を調べるなど
- 情報の共有
- ◆ 将来設計や経済的な事による進学先の選択や受験へ向けての学習に対するプランや意思、覚悟について

● 親子の話し合い ～子どもの考えを知り、親の考えを伝える～

- 親の考えだけを押しつけてはいないか、注意が必要です。
- アドバイスをする時は、まず子どもの考えをじっくり聞いてあげることが大切です。

● ある程度の情報収集は必要

- 相談したり指示を仰いだりするべき親があまりにも受験に関して無知・無関心というのは、本人にとって、かなり不安なことです。
- また、中途半端な知識であれやこれやと口を出されると、反感を感じてしまうものです。
- 一方的に考えを伝えるのではなく、分からないことは子どもに説明させるくらいの気持ちで、話し合うことが大切です。

☹️保護者にされて、言われて嬉しかったこと

「受験期に関する塾生アンケート」より

- 自分の将来なので、「できるだけ希望に沿うようにする」と言ってくれて、実行させてもらえたこと。
- 試験当日に「大丈夫」と一言だけ言ってくれた。
- 模試の結果が悪かったとき、「次があるから」と言ってくれた。
- 進路については何も言わずに「やりたいことをやりなさい」と言ってくれた。期待に応えたいと思った。
- スランプに陥った時に励ましや応援の言葉を言ってくれて、頑張ろうという気になった。
- 「今している努力は必ず実るから」と言われた。
- 特に何かしてもらったということとはなかった。日常と変わらない態度で接してくれたことがよかった。

現役合格に向けて

日々の勉強 = 受験勉強

応用力は一朝一夕には身につかない

普段の学習内容が入試問題を解くための土台

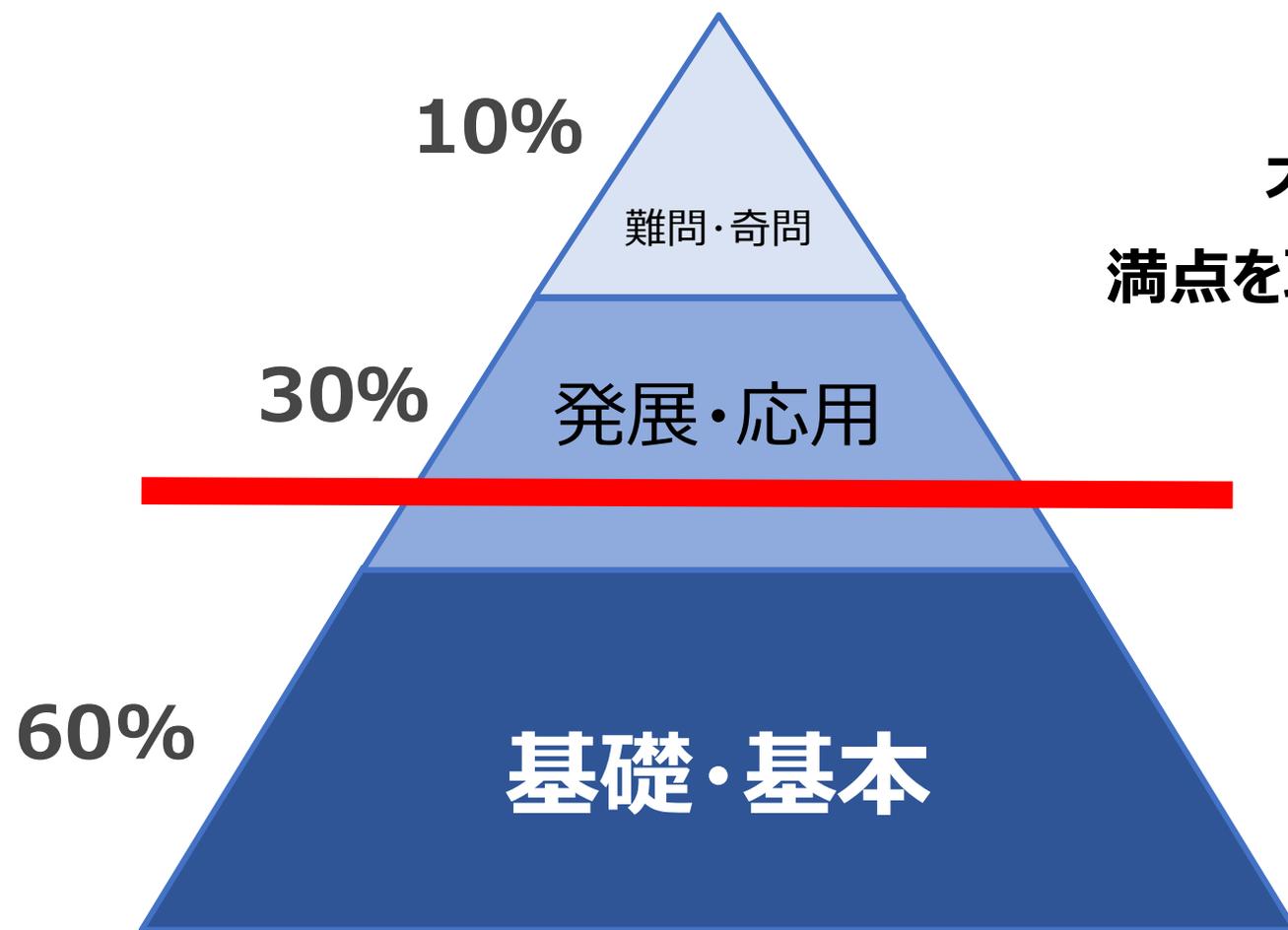
となることを意識して取り組むことが重要

入試の勝ち筋は

正答率の高い問題を確実に正解すること

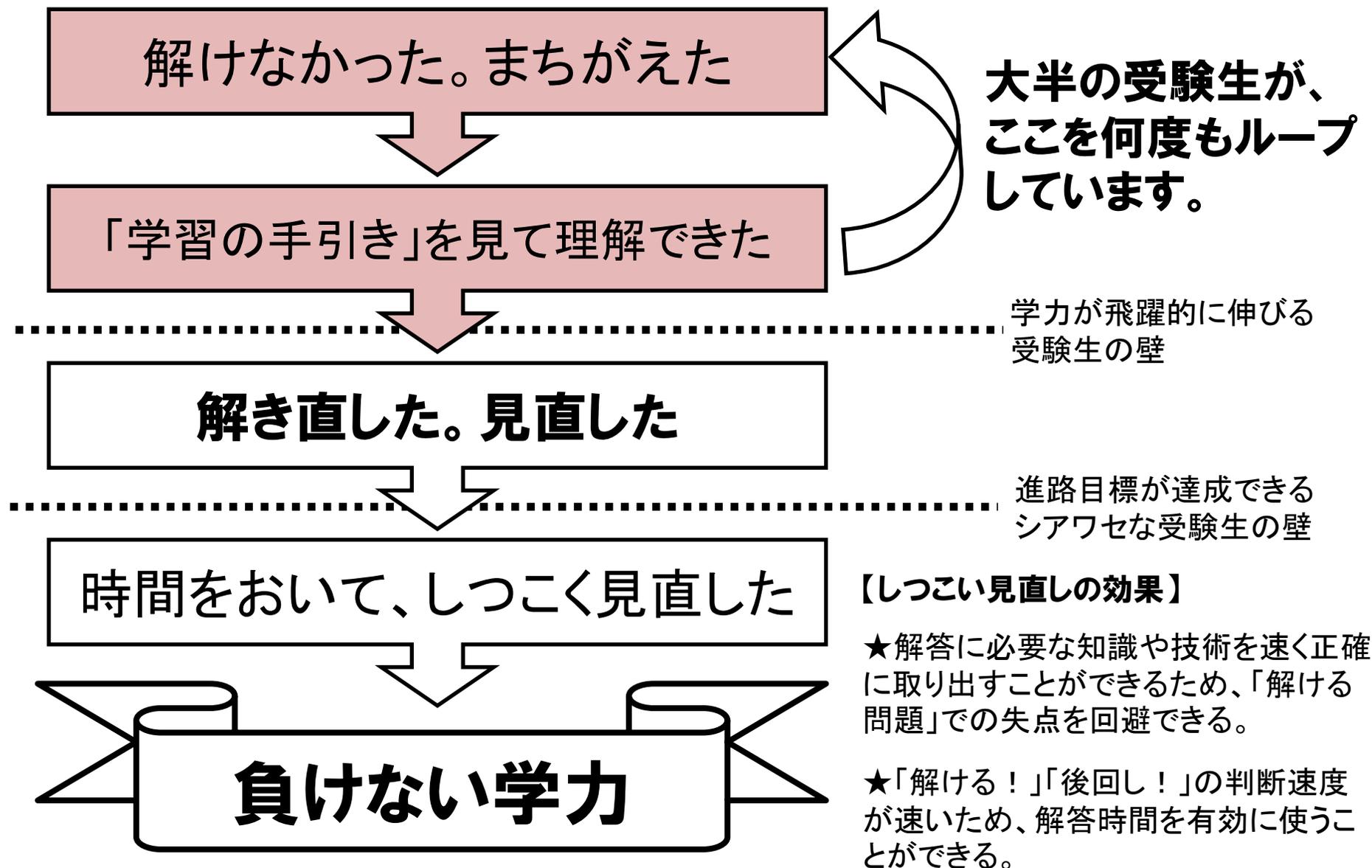
正答率の低い難問は解けた方が有利だが合否を分けるわけではない

難問は解けなきゃいけないの？



大学入試は…
満点を取るテストではない！

理解できたら見直す。さらに、見直す。



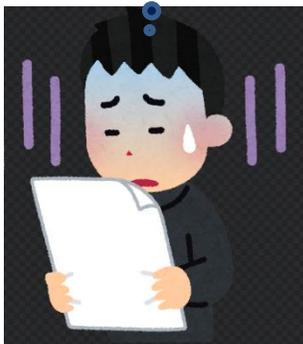
模試復習例

河合塾の塾生から「全問解き直しをする時間がない」という相談をよく受けます。そういった塾生にはこのようなアドバイスをしています。

模試受験



古文が…



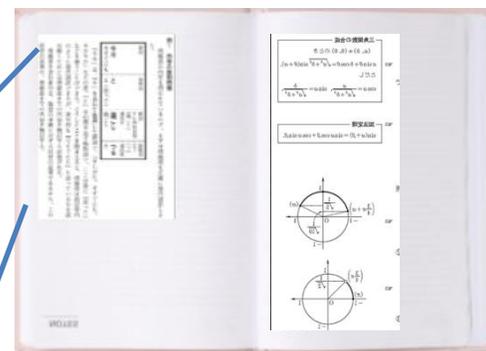
模試返却

学習の手引き



間違えた箇所、曖昧な箇所を切り貼りし「見直しノート」を作成

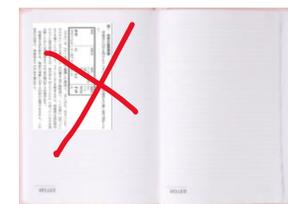
見直しノートの作成



見直しノートへの取り組み



確実に習得したら完了



河合塾の全統模試は普段、教壇に立っている講師が入試問題を分析し、入試で出題されそうな問題をチームで作成しています。復習しない手はありません。

英語が大事です

大学入試で最も重要な教科 = 英語

入試ではもちろん大事ですが
大学でも英語の授業はあります
大学によっては第2外国語を
取らねばなりません
単位が取れないと・・・

英語出題の分類

英文法

長文読解

英作文

英文和訳

英語出題の分類の分解

英文法

語い

読解力

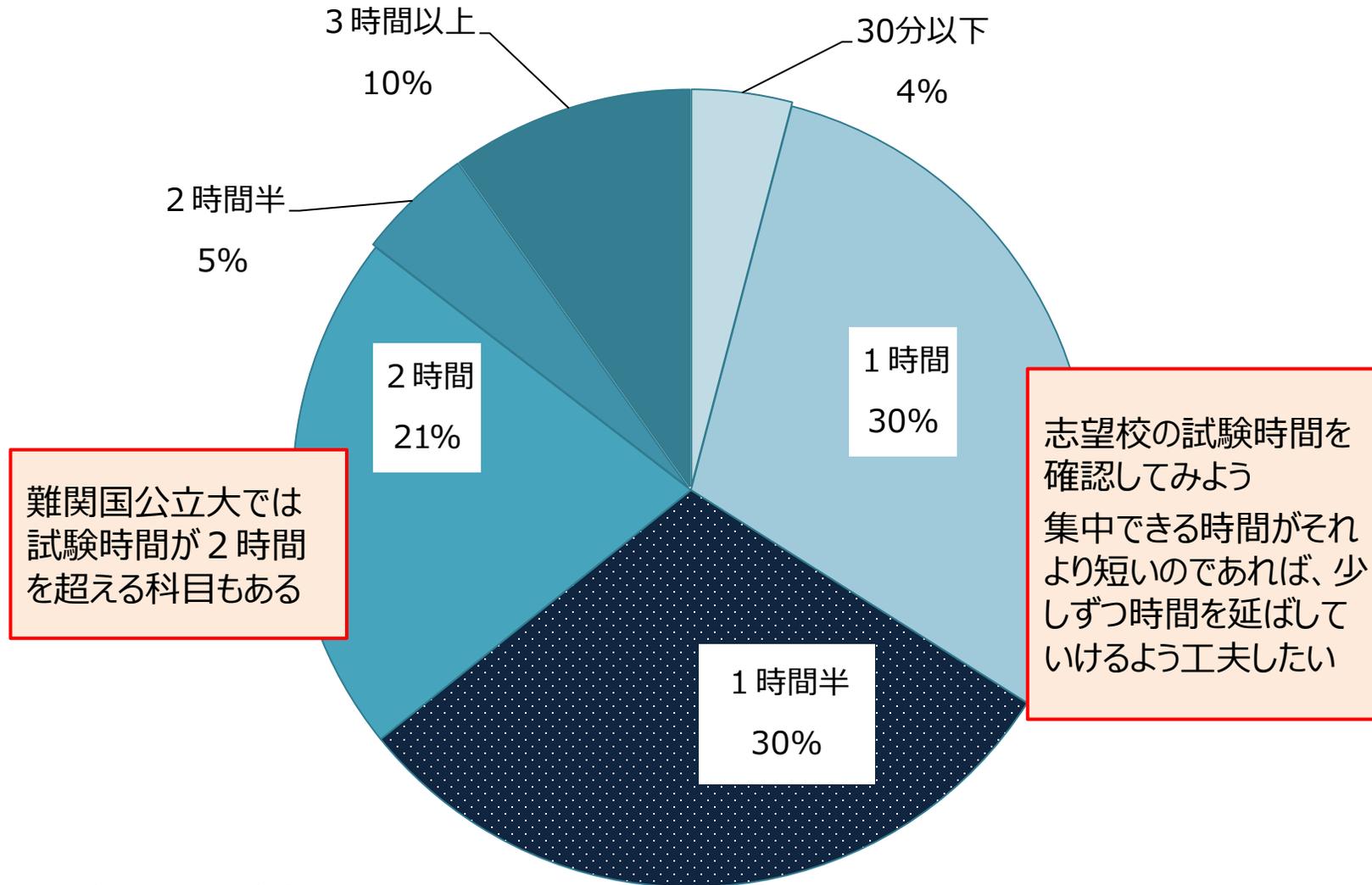
英文法

語い

英文法

語い

● 集中して勉強できる時間は？



受験生の意識調査（河合塾生アンケートより）

➤ 成績上位者の自宅での平均学習時間は？

	1 学期		夏休み	2 学期		冬休み	3 学期	
	平日	休日		平日	休日		平日	休日
高1生	2.0	2.7	4.1	2.2	2.7	3.5	2.2	2.8
高2生	2.4	3.0	4.5	2.5	3.0	4.2	2.5	3.2
高3生	2.9	4.3	6.4	4.0	6.3	7.8	6.3	7.4
高卒生	3.4	5.5	6.7	4.2	6.5	7.7	6.5	7.5

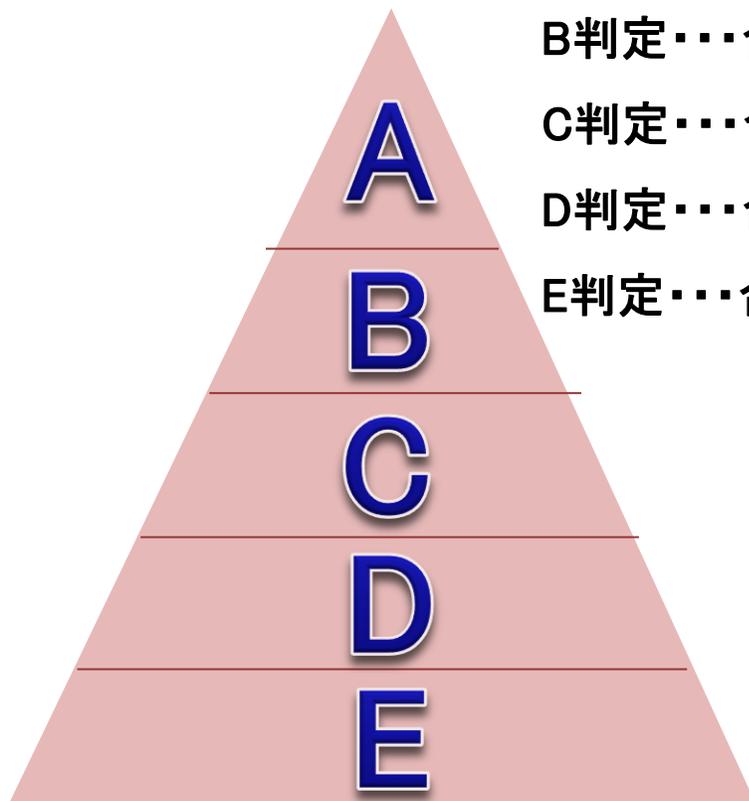
学力を向上させるためには学習の質と量が重要です

模試の判定別人数のイメージ図

(誤)



(正)



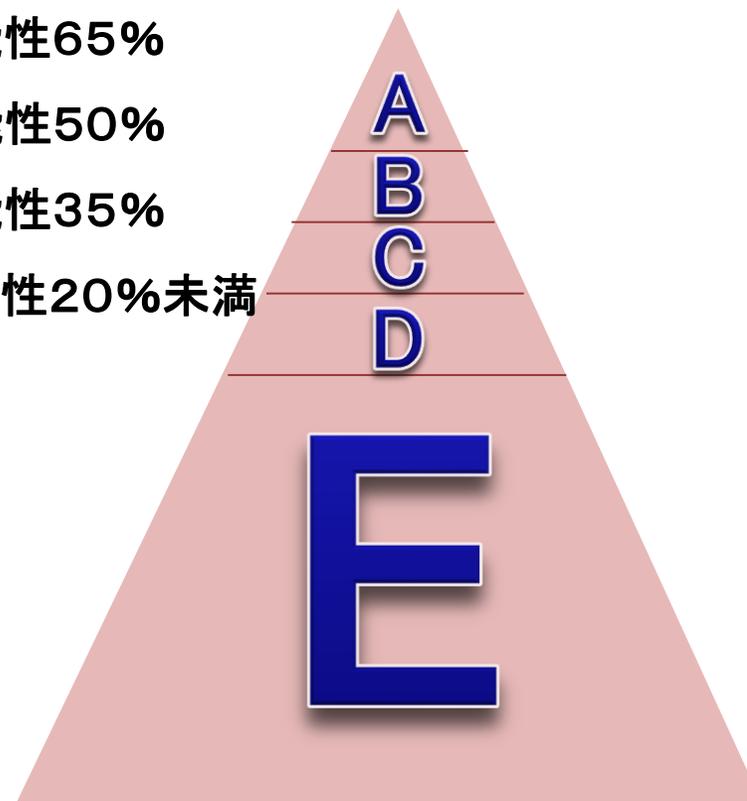
A判定・・・合格可能性80%

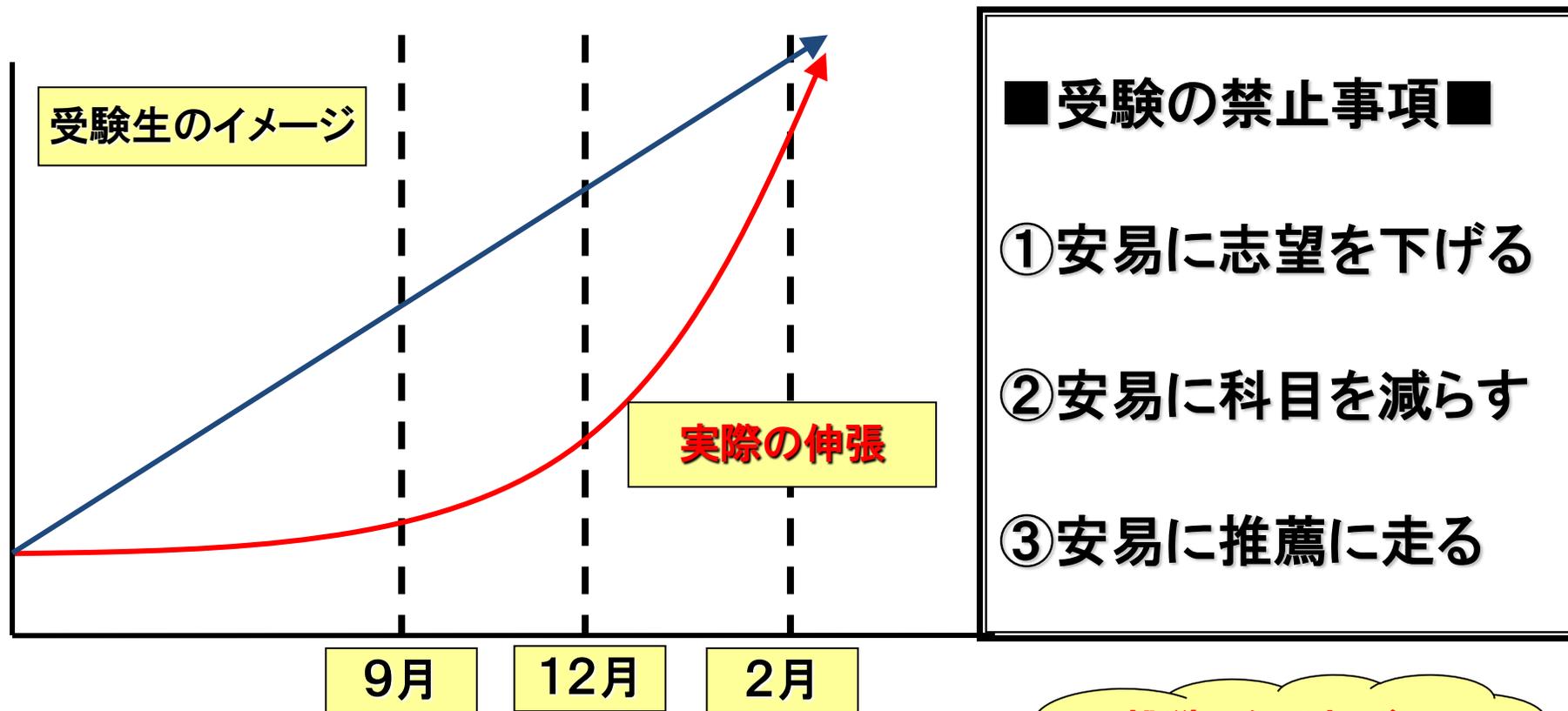
B判定・・・合格可能性65%

C判定・・・合格可能性50%

D判定・・・合格可能性35%

E判定・・・合格可能性20%未満





■ 受験の禁止事項 ■

- ① 安易に志望を下げる
- ② 安易に科目を減らす
- ③ 安易に推薦に走る

現役生は最後まで諦めないことが重要。
模試の判定だけで志望校を下げたり、推薦に頼ると、最後の伸びを摘んでしまうことになります。

挑戦しなければ
可能性は0%!



- ①絶対に志望校を諦めない！
- ②特別な学習は不要！当たり前のことを、
周り以上に確実に押さえて行く。
- ③自分に目標を合わせる ⇒ ×××
目標に自分を合わせる ⇒ ◎◎◎

受験で成功するために最も必要な要素って何？

と現役生に聞くと、ほぼ全員が「学力」と答えるんです。

同じ質問を高卒生に聞くと、半数くらいが「メンタル」「精神力」って答えます。

この子たちは高い確率で志望校に合格していきます。

現役時は「試験本番で自分を信じ切れず、実力を発揮できなかった」ケースが多いようです。

自分を信じ切るために高卒生は寝る間を惜しんで学習します。

高卒生の方が入試は有利、と思っていませんか？

違うんです。彼らは一度失敗しているだけに入試の怖さを知っているから寝る間を惜しんでまで学習するんです。「これだけ1年間勉強してきたんだから、これでだめなら仕方ない」という境地に入ることが出来るんです。

「学力」も勿論重要な要素です。ですが大学入試は人生をかけた大一番なのでメンタル半分、学力半分と考えてください。高卒生と同じく、入試本番で自分を信じていることができるよう、残りの高校生活を受験勉強に充てましょう。

「私、本番に弱いんです」という生徒が必ずいます。

「逆に聞くけど、本番に強い高校生っているの」

「そんなもんいませんよ。」

みな弱いんです。

そう割り切りましょう。

オリンピック選手っていますよね？彼等、彼女等の多くは日本有数のメンタルトレーナーが付いて、オリンピック本番で実力が発揮できるよう指導を受けています。100メートルを10秒で走る人や高跳びで2メートル超えるような我々からみたら超人のような人がです。

でも彼等、彼女等のうち何割かは実力を発揮できずにオリンピックから去りますよね。

少なくとも自分のような凡人は「本番に強い」なんてことは言いません。

入試本番で横に座った受験生が自分より頭良さそうに見える？見えるだけです。実際には分かりません。

変な言い方ですが、自分と同じ大学を受験しているんですよ。そんなに差がありますか？

開き直りましょう。開き直るためには「これだけやったんだから」が必要なのは言うまでもありません。